

(様式第 10)

3 京 医 大 第 725 号
令和 3 年 9 月 2 8 日

厚生労働大臣

殿

京都府公立大学法人
理事長 金田 章裕

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5
氏 名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5
電話(075) 251 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科 ②消化器内科 ③循環器内科 ④腎臓内科	
5神経内科 ⑥血液内科 ⑦内分泌内科 ⑧代謝内科	
9感染症内科 ⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科 ⑪リウマチ科	
診療実績 「神経内科」の診療内容は脳神経内科で提供している。 「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 ③乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 ⑦内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科 2 小児心臓血管外科 3 形成外科 4 リハビリテーション科 5 病理診断科 6 脳神経内科 7 内分泌・糖尿病・代謝内科 8 内分泌・乳腺外科 9 精神科・心療内科 10 救急医療科 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118床	床	54床	床	893床	1,065床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	256人	324人	572.8人	看護補助者	48人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	20人	25.0人	理学療法士	17人	臨床検査技師	72人
薬 剤 師	60人	3.5人	63.5人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	12人	その他	0人
助 産 師	32人	0.0人	32.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	740人	49.3人	789.3人	臨床工学士	22人	医療社会事業従事者	1人
准看護師	0人	0.0人	0.0人	栄 養 士	4人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	9人	0.0人	9.0人	歯科技工士	2人	事務職員	239人
管理栄養士	10人	4.4人	14.4人	診療放射線技師	56人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	65人	眼 科 専 門 医	18人
外 科 専 門 医	69人	耳鼻咽喉科専門医	18人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	24人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	25人
泌尿器科専門医	14人	麻酔科専門医	25人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	10人
		合 計	345人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (夜久 均) 任命年月日 平成31年4月1日

平成17、18、19、20、21年度 医療安全管理部長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	486.9人	2.7人	489.6人
1日当たり平均外来患者数	1,137.0人	111.7人	1,248.7人
1日当たり平均調剤数	1,079.7 剤		
必要医師数	118人		
必要歯科医師数	7人		
必要薬剤師数	17人		
必要(准)看護師数	287人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	328.10m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	15床	心電計	㊦・無
			人工呼吸装置	㊦・無	心細動除去装置	㊦・無
			その他の救急蘇生装置	㊦・無	ペースメーカー	㊦・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 181.70m ² [移動式の場合] 台数 9台		病床数	9床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 37.00m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	211.00m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置			
細菌検査室	216.29m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置			
病理検査室	260.23m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、ホルマリン対策局所廃棄装置、写真撮影装置、脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム			
病理解剖室	75.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) L地形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置			
研究室	3792.00m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクローム、光度計、血液分析装置			
講義室	616.00m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	4 室	収容定員	420 人
図書室	1080.00m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	27 室	蔵書数	14,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	77.50%	逆紹介率	99.70%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13,279 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,473 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,077 人
	D: 初診の患者の数		18,528 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	有・ 無	1
平野 哲郎	立命館大学法科大学院法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	有・ 無	1
伊藤 英樹	広島大学病院医療安全管理部		医療安全管理に関する専門的知識を有している。	有・ 無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医療を受ける者の代表	有・ 無	2
				有・無 有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	④・無
委員の選定理由の公表の有無	④・無
公表の方法	
京都府公立大学法人のホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数	
1 球脊髄性筋萎縮症	3	56	ベーチェット病	65
2 筋萎縮性側索硬化症	22	57	特発性拡張型心筋症	43
3 脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	9
4 原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	1
5 進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	23
6 パーキンソン病	101	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7 大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8 ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	38
9 神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10 シアルコー・マリートウス病	11	65	原発性免疫不全症候群	6
11 重症筋無力症	81	66	IgA 腎症	92
12 先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	36
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	69	68	黄色靱帯骨化症	14
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	25	69	後縦靱帯骨化症	53
15 封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	12
16 クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	56
17 多系統萎縮症	4	72	下垂体性ADH分泌異常症	5
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	40	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19 ラインゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20 副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	1
21 ミトコンドリア病	13	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	12	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14
23 プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	41
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	10	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	11
27 特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	23	83	アジソン病	0
29 ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	63
30 遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	10
31 ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	26
32 自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	29
34 神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	1
35 天疱瘡	11	90	網膜色素変性症	11
36 表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	0
37 膿疱性乾癬(汎発型)	13	92	特発性門脈圧亢進症	0
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	15	93	原発性胆汁性肝硬変	42
39 中毒性表皮壊死症	9	94	原発性硬化性胆管炎	4
40 高安動脈炎	22	95	自己免疫性肝炎	14
41 巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	114
42 結節性多発動脈炎	15	97	潰瘍性大腸炎	273
43 顕微鏡的多発血管炎	39	98	好酸球性消化管疾患	2
44 多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	22	101	腸管神経節細胞減少症	0
47 バージャー病	19	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	GFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	257	104	コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	112	105	チャージ症候群	0
51 全身性强皮症	89	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52 混合性結合組織病	37	107	全身型若年性特発性関節炎	12
53 シェーグレン症候群	34	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	16
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクスピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	9	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	2
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮膚異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	8	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	3	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	262	原発性高カイロミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	3	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	3	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	50	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球形成貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	2
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	6
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	24

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	3
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算2
・(一般)特定機能病院入院基本料 7対1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・(結核)特定機能病院入院基本料 7対1	・精神疾患診療体制加算
・救急医療管理加算	・精神科急性期医師配置加算
・超急性期脳卒中加算	・地域医療体制確保加算
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料2
・医師事務作業補助体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護配置加算	・緩和ケア病棟入院料1
・看護補助加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・重症者等療養環境特別加算	
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・精密触覚機能検査
・糖尿病合併症管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・がん患者指導管理料イ	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・がん患者指導管理料ロ	・検体検査管理加算(IV)
・がん患者指導管理料ハ	・国際標準検査管理加算
・外来緩和ケア管理料	・遺伝カウンセリング加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病透析予防指導管理料	・胎児心エコー法
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・院内トリアージ実施料	・ヘッドアップティルト試験
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・長期継続頭蓋内脳波検査
	・脳波検査判断料1
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談体制充実加算	・補聴器適合検査
・がん治療連携計画策定料	・ロービジョン検査判断料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・コンタクトレンズ検査料1
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・小児食物アレルギー負荷検査
・薬剤管理指導料	・内服・点滴誘発試験
・医療機器安全管理料1	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料2	・遠隔画像診断
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝学的検査	・心臓MRI撮影加算
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来化学療法加算1	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・無菌製剤処理料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・運動器リハビリテーション料(I)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・がん患者リハビリテーション料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・リンパ浮腫複合的治療料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・認知療法・認知行動療法1	・網膜再建術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・人工中耳植込術
・医療保護入院等診療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・口腔粘膜処置	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・レーザー機器加算	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・硬膜外自家血注入	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・人工腎臓	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・手術用顕微鏡加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CAD/CAM冠	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・手術時歯根面レーザー応用加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・歯科技工加算1及び2	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・センチネルリンパ節加算	・胸腔鏡下弁形成術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経カテーテル大動脈弁置換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的僧帽弁クリップ術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・同種死体腎移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・生体腎移植術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・膀胱水圧拡張術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・体外衝撃波胆石破砕術	・輸血管理料 I
・腹腔鏡下肝切除術	・コーディネート体制充実加算
・生体部分肝移植術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・同種死体肝移植術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・体外衝撃波膵石破砕術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・歯根端切除手術の注3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・麻酔管理料(Ⅰ)	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・麻酔管理料(Ⅱ)	・先天性代謝異常症検査
・放射線治療専任加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・外来放射線治療加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・高エネルギー放射線治療	・単線維筋電図
・1回線量増加加算	・黄斑局所網膜電図
・強度変調放射線治療(IMRT)	・全視野精密網膜電図
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・経気管支凍結生検法
・定位放射線治療	・連携充実加算
・粒子線治療	・療養生活環境整備指導加算
・粒子線治療適応判定加算	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・粒子線治療医学管理加算	・椎間板内酵素注入療法
・保険医療機関間の連携による病理診断	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
・病理診断管理加算2	・角膜移植術(内皮移植加算)
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・口腔病理診断管理加算1	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・歯科矯正診断料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・ウイルス疾患指導料	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・がん患者指導管理料ニ	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・小児運動器疾患指導管理料	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・婦人科特定疾患治療管理料	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腎代替療法指導管理料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・同種クリオプレシピテート作製術
・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・BRCA1/2遺伝子検査	・多血小板血漿処置
・がんゲノムプロファイリング検査	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
服薬時嚥下障害への新規治療戦略:薬剤Dosage Forms (剤型)による解析	山脇 正永	総合診療科	206,382	補○ 委 文部科学省
Wnt5aペプチドによる腸管炎症抑制作用に関する検討	内山 和彦	消化器内科	918,233	補○ 委 文部科学省
メタゲノムおよびメタボローム解析によるピロリ除菌後胃癌診断システムの開発	土肥 統	消化器内科	910,000	補○ 委 文部科学省
腸内細菌叢からみた過敏性腸症候群の病態解明	鎌田 和浩	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
EGFRをターゲットとする新規アプローチを用いたNASH発癌予防法の開発	榎村 敦詩	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
熱ショック蛋白Apg-2のリボファジー抑制を介した肝脂肪化、肝発がん機序の解明	山口 寛二	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
正常免疫マウスでのがん免疫療法によるサイトカイン放出症候群の病態解明と新治療開発	岡山 哲也	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
Gut-muscle axisに着目したがんサルコペニアの病態解明と新規治療開発	石川 剛	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
エネルギー代謝プロファイリングに基づく新規肝不全治療の開発	西川 太一郎	消化器内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
口腔内細菌叢を標的とした新規機能性ディスペプシア治療薬開発に向けた基盤研究	福居 顕文	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
粘膜関連細菌叢と粘膜バリアを標的とした生活習慣病への治療応用	堅田 和弘	消化器内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
腸管抗原提示細胞によるサイトカイン誘導と腸炎制御メカニズムの解明	春里 暁人	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
Tolloid like 1遺伝子多型のNAFLDの病態における意義	瀬古 裕也	消化器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
胃癌腹膜播種に特異的なmiRNAの分子機構解明と臨床応用	岩井 直人	消化器内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
慢性肝疾患における門脈圧の流体力学的シミュレーション	石破 博	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血清ペプチドバイオマーカーを用いた大腸がん早期発見の大規模前向き検証	内藤 裕二	消化器内科	29,250,000	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
Interactions between genetics and microbiome and its impact on accelerated ageing in schizophrenia	春里 暁人	消化器内科	3,000,000	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
機能性野菜を用いた腸内フローラ解析による生体恒常性維持効果の実証研究	内藤 裕二	消化器内科	40,000,000	補 委○ 国立研究開発法人農業・食 品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究 支援センター
αシヌクレインの凝集抵抗性変異構造の網羅的探索と疾患予防応用	星野 温	循環器内科	3,900,000	補○ 委 文部科学省
京丹後地域健康百寿因子探索研究と久山町研究・岩木町健診との連携多因子AI解析	的場 聖明	循環器内科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
ミトコンドリア機能制御の基盤となるミトコンドリアー核ネットワークの包括的解明	星野 温	循環器内科	3,770,000	補○ 委 文部科学省
うつ病モデルマウスにおける好中球細胞外トラップ形成を標的とした心血管病予防戦略	山田 浩之	循環器内科	910,000	補○ 委 文部科学省
Caveolin-Cavinシステムによる肺高血圧症発症機序解明と新規治療法探索	中西 直彦	循環器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
慢性鼻副鼻腔炎は心房細動の発症要因になりうるか？	谷口 琢也	循環器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
末梢動脈疾患に対する積極的脂質低下療法によるプラーク退縮及び安定化効果の解析	矢西 賢次	循環器内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
ヒト心筋細胞の生存促進制御機構の解明と治療応用に関する研究開発	木谷 友哉	循環器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
血管老化を起点とする老化関連疾患発症メカニズムの解明	池田 宏二	循環器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
高親和性改変ACE2によるウイルス変異抵抗性SARS-CoV-2中和製剤の開発	星野 温	循環器内科	65,000,000	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
COI拠点「真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点」	的場 聖明	循環器内科	145,622,998	補 委○ 国立研究開発 法人科学技術 振興機構
重症虚血肢に対し、筋組織酸素飽和度 (StO2) をモニタリングする近線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	的場 聖明	循環器内科	35,322,820	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
①血管老化・動脈硬化予防効果の解明	的場 聖明	循環器内科	8,000,000	補 委○	京都府農林水産技術センター 農林センター
血管内皮細胞ウイルス感染の観点から明らかとするCOVID-19関連血栓症発症メカニズムと細胞老化の影響の解析	池田 宏二	循環器内科	39,000,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
単一細胞遺伝子発現解析を用いたIgA腎症における免疫細胞の役割の網羅的解析	桐田 雄平	腎臓内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
尿管上皮のNaチャネル発現亢進を標的とした心腎連関に対する新規治療の確立	草場 哲郎	腎臓内科	2,990,000	補○ 委	文部科学省
肺がんの「治療抵抗に関わるシグナル指向性」を標的とした画期的治療・診断法の開発	山田 忠明	呼吸器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
COPDにおけるステムセルエイジングの改善を目的とした粘液線毛輸送活性化療法の開発	田宮 暢代	呼吸器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
ALK肺がんにおける治療抵抗性の解明と克服治療の開発	谷村 恵子	呼吸器内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立 フォローアップ研究	高山 浩一	呼吸器内科	9,880,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Stevens-Johnson症候群気道粘膜障害における自己免疫機序の解明	金子 美子	呼吸器内科	390,000	補○ 委	文部科学省
microRNA/let-7の骨格筋萎縮・糖代謝における機能解析	岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
男性における性ホルモン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
発酵食品の内臓脂肪の自然リンパ球を介した糖尿病発症抑制メカニズムの解明	橋本 善隆	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
骨格筋におけるmiR-23bの糖代謝改善作用の解明	中西 尚子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
GAD反応性T細胞を標的とした根治的1型糖尿病治療の開発	北川 功幸	内分泌・糖尿病・代謝内科	3,120,000	補○ 委	文部科学省
Lipidomics解析を用いた糖尿病発症機構における脂肪酸代謝異常の検討	中西 尚子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発酵食品の腸-内臓連関を介した糖代謝改善機構の解明-マルチオミクス解析を用いて-	岡村 拓郎	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
③腸内環境改善による動脈硬化予防機能の実証試験	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	6,000,000	補 委○ 京都府農林水産技術センター 農林センター
網羅的ゲノム編集生体内スクリーニング法による難治性B細胞リンパ腫治療標的の探索	水谷 信介	血液内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
多発性骨髄腫に対するRSK2標的化創薬研究	黒田 純也	血液内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
マントル細胞リンパ腫におけるmir17-92クラスターの網羅的機能解析と治療開発	塚本 拓	血液内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
B細胞性腫瘍のクローン性進展におけるSGO-1の機能的意義と制御による合成致死	古林 勉	血液内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
多発性骨髄腫におけるMDSCによる免疫制御機構の解析および治療への応用	志村 勇司	血液内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
脂肪組織・マスト細胞インタラクションを介した脂肪由来慢性炎症の解明	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギー科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
シングルセル解析による膠原病関連間質性肺疾患の病態解明	藤井 渉	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ドーパミン受容体を介する肺線維化の病因機序の解明と新規治療薬の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
MDA5の発現様式に着目した、皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺疾患の発症機構解明	木田 節	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
特発性全般てんかんの社会的認知機能-表情認知機能システムの解明	田中 章浩	脳神経内科	780,000	補○ 委 文部科学省
多発性硬化症の臨床的多様性の背景にある免疫病態の解析と病態バイオマーカーの探索	藤井 ちひろ	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
超音波検査・高密度表面筋電図同時測定システムによるサルコペニアの筋機能解明	辻 有希子	脳神経内科	650,000	補○ 委 文部科学省
ウェアラブル端末を用いたバイオメカニクス解析によるCMTのトレーニング理論の提案	能登 祐一	脳神経内科	130,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
炎症型血管周囲ミクログリアと高血圧による脳血管障害をつなぐシグナル伝達機構の解明	小泉 崇	脳神経内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
濾胞性T細胞の重症筋無力症における免疫学的指標としての検討	芦田 真士	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
解糖系酵素変異に注目した新しいパーキンソン病病態解明と治療薬開発	笠井 高士	脳神経内科	910,000	補○ 委 文部科学省
フラクタル幾何学を用いた大脳白質病変進展の解析	水野 敏樹	脳神経内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
腸内細菌による脳梗塞発症機序の解明	渡辺 明子	脳神経内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
アレキサンダー病発症に関与する遺伝的修飾因子の探索	安田 怜	脳神経内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
脳細胞由来エクソソームによるパーキンソン病と関連疾患の血液バイオマーカーの確立	大道 卓摩	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
次世代型超高感度ELISAによる筋萎縮性側索硬化症の血液診断実用化	笠井 高士	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 京都市
腹水中exosomeをターゲットとした新たな治療法の開発	大辻 英吾	消化器外科	5,070,000	補○ 委 文部科学省
NADPH oxidase5とROSの細胞内輸送による大腸癌進展機序の解明	清水 浩紀	消化器外科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞特異的に発現するイオンチャンネルを標的とした肝細胞癌治療法の開発	藤井 俊	消化器外科	1,558,204	補○ 委 文部科学省
消化器癌における新規癌関連遺伝子PBK/TOPKの癌化機構の解明と臨床応用	大橋 拓馬	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
食道癌における容積感受性チャンネル蛋白LRRC8Aの機能解析と低浸透圧療法への応用	原田 恭一	消化器外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
膵癌に対するリンパ節転移・切除断端診断機器の開発	村山 康利	消化器外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
胃癌幹細胞特異的に発現するイオンチャンネルの解析と新規分子標的治療法の開発	伊藤 博士	消化器外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
分泌型癌抑制microRNAを用いた消化器癌の治療感受性予測・核酸治療法の開発	小松 周平	消化器外科	910,000	補○ 委 文部科学省
膵癌幹細胞に高発現する炎症性サイトカイン受容体を標的とした新規治療法の開発	小菅 敏幸	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞に発現する電位依存性カルシウムチャンネルを標的とした胃癌新規治療法の開発	塩崎 敦	消化器外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
食道癌の分泌型癌抑制microRNAを用いた治療感受性予測・核酸治療法の開発	藤原 斉	消化器外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
胃癌における容積活性化アニオンチャンネルVAACの機能解析と低浸透圧療法への応用	當麻 敦史	消化器外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
胃癌に対する新規個別化診断のための血小板変容の検討	濱田 隼一	消化器外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
血球分泌型細胞外小体の消化器癌悪性形質獲得メカニズムの解明と新たな治療戦略	有田 智洋	消化器外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
大腸癌幹細胞における細胞内Ca ²⁺ ダイナミクスを標的とした新規治療法の開発	工藤 道弘	消化器外科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞に対するカルシウム輸送体制御による低浸透圧細胞破壊治療法の開発	竹本 健一	消化器外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
サルコペニア関連microRNAの消化器癌進展に対する分子機序の解明と臨床応用	木内 純	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
僧帽弁狭窄に対するステントレス僧帽弁置換術の安全性と有効性の評価:多施設共同研究	夜久 均	心臓血管外科	1,323,150	補○ 委 文部科学省
生体内組織工学技術による結合組織膜を用いた先天性心疾患に対する肺動脈拡大術の試み	山南 将志	心臓血管外科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
患者の体内で再生する自家結合組織代用血管の臨床応用の適応拡大をめざした多角的研究	神田 圭一	心臓血管外科	3,380,000	補○ 委 文部科学省
自家・他家由来生体材料を心臓血管補填組織として用いるために最適な処理方法の開発	井上 知也	心臓血管外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
先天性心疾患の外科治療における生体組織工学を用いた自己結合組織膜の臨床応用	前田 吉宣	心臓血管外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特殊施設を要さず手術室内で実現する、同種移植用・生体内再生誘導型代用血管の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
高圧処理自家皮膚組織の“自己体内再生型”血管補填材料としての応用	山南 将志	心臓血管外科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
がん微小環境に着眼した肺癌に対する栄養療法の抗腫瘍効果の解明	岡田 悟	呼吸器外科	252,170	補○ 委 文部科学省
原発性肺癌におけるSpread Through Air Spaceの分子病態解明	井上 匡美	呼吸器外科	5,610,000	補○ 委 文部科学省
ラット開胸モデルを用いた血小板活性抑制による癒着防止効果の検証	常塚 啓彰	呼吸器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
乳癌の癌治療関連骨減少に対するロモズマブの有用性の検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
アルゴンによる移植腎保護効果と至適投与法の前臨床ミニプタ実験による解明	昇 修治	移植・一般外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
骨髄由来抑制細胞による制御性T/B細胞誘導を用いた移植免疫寛容誘導に関する研究	中村 緑佐	移植・一般外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
胆道閉鎖症の肝外胆管における異常免疫とその増強因子の解析	東 真弓	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
横隔膜ヘルニア中動物モデルを用いたエクソソーム気管内投与による新規胎児治療の開発	高山 勝平	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
神経芽腫モデルマウスを用いたGD2抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞免疫療法開発	田尻 達郎	小児外科	4,030,000	補○ 委 文部科学省
MRFs導入筋細胞分化と生体内組織形成技術による機能的骨格筋シートの開発	文野 誠久	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
間葉系幹細胞由来エクソソーム羊水腔投与による横隔膜ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
進行神経芽腫に対するMEK阻害剤の臨床応用に向けた耐性メカニズム探索	田中 智子	小児外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
転移性神経芽腫シンジュニックマウスモデルによる外科治療戦略の最適化研究	坂井 宏平	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
軟部悪性腫瘍に対する5-ALAを用いた超音波力学療法	河原崎 彩子	形成外科	650,000	補○ 委 文部科学省
小分子化合物を用いた高機能シュワン細胞誘導技術の開発と再生医療への展開	素輪 善弘	形成外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
無症候性脳腫瘍のデータベース構築のための基盤的研究	橋本 直哉	脳神経外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
視覚芸術(漫画)を応用展開したインフォームドコンセントのイノベーション戦略	笹島 浩泰	脳神経外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
神経膠腫オルガノイドバンク構築による個別化治療の開発	高橋 義信	脳神経外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
オプトジェネティクスによる幹細胞移植後の神経細胞の機能評価	梅林 大督	脳神経外科	650,000	補○ 委 文部科学省
低酸素誘導因子の制御による関節リウマチの運動療法の開発-サルコペニアの克服-	中川 周士	整形外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
体内時計と関節炎の包括的研究	藤原 浩芳	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
半永久電気分極処理生体骨を用いた骨折および骨欠損治療の開発	小田 良	整形外科	260,000	補○ 委 文部科学省
拡散テンソル法を用いたサルコペニアに対する画像評価法の開発	原 佑輔	整形外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
骨粗鬆症におけるHGF/c-Metシグナルを介した骨と筋肉間ネットワークの解析	外村 仁	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ステロイド性骨粗鬆症の血流評価-血流改善による新たな治療法開発を目指して-	齊藤 正純	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
リハビリテーションの質を可視化する-健康長寿に向けた負荷量見える化の試み-	徳永 大作	整形外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
低酸素環境での新規分子HYBIDの制御による変形性関節症治療法の開拓	井上 裕章	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
下腿義足の下肢アライメント予測ソフトウェアの開発-義足作製の標準化を目指して-	今井 寛	整形外科	2,080,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小児脊柱側弯症に対する学校検診での早期発見と動的脊柱装具による早期治療	高取 良太	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
高感度磁束計による自発磁場の測定を用いた細胞評価法の確立	吉田 隆司	整形外科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
時計遺伝子CRYに着目した体内時計の骨の成長および変形性関節症の制御機構の解明	大久保 直輝	整形外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
ウェアラブルデバイスによる上肢関節負荷の定量化および管理法の開発	木田 圭重	整形外科	910,000	補○ 委	文部科学省
成長軟骨板損傷の定量的予後判定の確立と成長軟骨板再生医療の開発	西田 敦士	整形外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
天然有機化合物デカルシンを用いた新規骨肉腫治療薬の開発	白井 寿治	整形外科	1,554,849	補○ 委	文部科学省
関節リウマチに対するギャップ結合蛋白制御と運動療法による新規治療法の開発	土田 真嗣	整形外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
深部子宮内膜症の病態解明とステロイド合成酵素を標的とした新たな治療基盤の確立	小芝 明美	産婦人科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症とそのホルモン治療が動脈硬化関連バイオマーカーに及ぼす影響について	前田 英子	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
エストロゲン伝達系を介した子宮体癌浸潤転移機構解明と新規分子治療のための基盤確立	森 泰輔	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症のエストロゲン関連受容体による伝達系に基づく新規分子標的治療の基盤確立	北脇 城	産婦人科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
CDK4/6阻害剤を用いた子宮体がん新規治療法の確立	山本 拓郎	産婦人科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症における自然リンパ球による免疫応答機構と病因病態への関与の解明	田中 佑輝子	産婦人科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
CRISPR/Cas9を用いた子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体伝達機構解明	古株 哲也	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症のPGC-1 α を介した伝達経路の解明と分子標的治療の確立	片岡 恒	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体-上皮間葉転換を介した浸潤転移機序の解明	寄木 香織	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
月経周期と妊娠における制御性T細胞サブセットの変動とその内分泌学的機序の解明	沖村 浩之	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
KMT2A再構成陽性急性リンパ性白血病に対するCAR-T療法の開発	大曾根 眞也	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
肥満を形成する食行動・食嗜好におけるMeCP2遺伝子の役割	福原 正太	小児科	910,000	補○ 委 文部科学省
褐色脂肪細胞の分化・増殖メカニズムに着目した新規肥満治療薬の探索	森元 英周	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
CAR-T細胞の「疲弊」改善に寄与する共刺激因子発現型腫瘍溶解ウイルスの開発	吉田 秀樹	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍溶解ウイルスを用いた横紋筋肉腫に対するCAR-T細胞療法補完システムの開発	細井 創	小児科	6,370,000	補○ 委 文部科学省
ショウジョウバエモデルを用いたリボソーム病神経障害の分子病態解明と治療探索	千代延 友裕	小児科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
CRP陰性若年性特発性関節炎のバイオマーカー探索	秋岡 親司	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
新規治療戦略の確立をめざしたラブドイド腫瘍幹細胞の同定と細胞学的特性の解析	勝見 良樹	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
時計遺伝子CLOCKの遺伝子多型と小児肥満の関連解析	中島 久和	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
固形腫瘍の腫瘍微小環境改善を目指した複合的遺伝子改変T細胞療法の開発	柳生 茂希	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
CD19発現型AdVとCD19 CAR-T細胞を組み合わせた遺伝子細胞治療戦略	吉田 秀樹	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ACE2/Ang1-7系のDNAメチル化を介した褐色脂肪細胞分化機構の解明	森 潤	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
鶏卵漿尿膜法を利用した横紋筋肉腫組織移植3Dモデルの作成	菊地 颯	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
神経芽腫の自然退縮・分化に関わる新規予後良好分子マーカーの検討と治療応用	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
拡散強調画像を用いた早産児の中脳神経評価と神経学的予後との関連性の解明	長谷川 龍志	小児科	520,000	補○ 委	文部科学省
エリスロポエチンの腎線維化と間質浸潤マクロファージに及ぼす影響の検討	西田 眞佐志	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
腸管オルガノイドを用いた、好酸球による炎症性腸疾患への関与機構の解明	加納 原	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
細胞内輸送障害と樹状突起形成異常が引き起こすSTXBP1脳症の病態機序の解明	戸澤 雄紀	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
エリスロポエチンの非アルコール性脂肪性肝疾患の治療に対する有用性の検証	都間 佑介	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
Rhabdoid tumorに対する新規腫瘍溶解アデノウイルス製剤の開発	吉田 秀樹	小児科	3,200,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
EPHB4受容体陽性悪性軟部腫瘍を標的とした非ウイルス遺伝子改変キメラ抗原受容体T細胞療法の非臨床試験	柳生 茂希	小児科	132,041,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	細井 創	小児科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層的オミックス解析によるSJS/TENの病態把握と予後向上に向けた戦略的研究	外園 千恵	眼科	5,590,000	補○ 委	文部科学省
次世代シーケンサーを用いた脂腺癌の遺伝子解析と発症メカニズムの解明	渡辺 彰英	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
線維化抑制と神経保護作用を標的とした加齢性黄斑変性症に対する治療法の開発	畑中 宏樹	眼科	520,000	補○ 委	文部科学省
角膜移植Graftの環境適応応答破綻に係る移植巣微小環境の解明	上野 盛夫	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
眼内液解析によるフォークト-小柳-原田病の病態解明	永田 健児	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
網膜剥離の新たな低侵襲手術・上脈絡膜腔バックリングの最適化へ向けた基礎的研究	小嶋 健太郎	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
常在細菌叢と性ホルモンによるマイボーム腺脂質代謝制御機構及び眼表面疾患病態の解明	鈴木 智	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞運命を規定する代謝プログラミングの階層性と組織機能不全病態の解明	丸山 悠子	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
遺伝解析の統計的検出力を高めるための緑内障臨床情報クラスタリング手法の開発	森 和彦	眼科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
涙液油層機能を維持する生理活性脂質の応用をめざした基礎研究と臨床基盤の確立	横井 則彦	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
高齢発症の因果律としての緑内障発症抵抗遺伝子の同定と動態解析	池田 陽子	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
細胞外小胞粒子を介するRPE/Mp相互作用解析による斬新な創薬標的創出	羽室 淳爾	眼科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
エピジェネティック制御機構による血管新生・瘢痕形成AMD病態の抑制	平本 菜央	眼科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞における一次繊毛の角膜内皮疾患との関連性および機能解明	谷岡 秀敏	眼科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
緑内障濾過手術後の結膜下組織の恒常的な線維化抑制:永続的かつ安全な眼圧下降	山本 雄士	眼科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
Rhoキナーゼ阻害剤を用いた角膜内皮におけるprimary ciliaの機能解析	堀内 稔子	眼科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
網膜色素上皮細胞en face画像と硝子体液解析による黄斑微小環境の解明	田中 寛	眼科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
細胞間代謝干渉(同調、競合)によるヒト角膜内皮機能不全病態増悪回路の制御法開発	木下 茂	眼科	7,150,000	補○ 委 文部科学省
培養ヒト角膜内皮細胞注入再生医療の高度化	木下 茂	眼科	39,000,000	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
人工コラーゲン様ポリペプチドを用いた黄斑円孔治療用デバイス開発	小嶋 健太郎	眼科	65,000,000	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた戦略的研究	外園 千恵	眼科	14,079,999	補 委○ 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
タイとの共同研究(NRCT) 角膜再生医療のタイへの展開	外園 千恵	眼科	2,337,500	補 委○	日本学術振興 会
Siglecs由来シグナルによるアレルギー性皮膚疾患 の治療法の開発	加藤 則人	皮膚科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
アレルギー性皮膚疾患における転写因子IRF3を介 する自然免疫シグナルの役割の解明	峠岡 理沙	皮膚科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
乳房外パジェット病の病態解明および新規治療法 の開発	浅井 純	皮膚科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
アレルギー疾患の患者および養育者の就労・就学 支援を推進するための研究	加藤 則人	皮膚科	5,966,000	補○ 委	厚生労働省
尿感知型夜尿症治療器の開発	内藤 泰行	泌尿器科	1,300,000	補○ 委	京都市
機能未知ユビキチン様タンパク質を介した精巣腫 瘍発症メカニズムの解明	上田 紗弥	泌尿器科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
生体内ダイレクト・リプログラミングによる膀胱平滑筋 の再生	松原 弘樹	泌尿器科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
前立腺癌監視療法における治療指針決定マー カーの開発	沖原 宏治	泌尿器科	650,000	補○ 委	文部科学省
複数の前立腺癌病巣のうち個体の予後を規定する 癌病巣を特定する研究	岩田 健	泌尿器科	390,000	補○ 委	文部科学省
女性泌尿器科手術における術中三次元リアルタイム ナビゲーション法の開発	藤原 敦子	泌尿器科	520,000	補○ 委	文部科学省
癌微小環境を標的としたV γ 9V δ 2T細胞癌免疫細胞 療法の基盤構築	清水 輝記	泌尿器科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
尿感知型・尿失禁介護器の開発	内藤 泰行	泌尿器科	500,000	補 委○	国立研究開発 法人科学技術 振興機構
声帯硬化性病変に対する再生医療の重症度に応 じた体系化のための基礎的研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	4,159,713	補○ 委	文部科学省
細胞内外イオン環境の変化に対する鼻粘膜線毛 細胞の応答性	安田 誠	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
幹細胞からの声帯線維芽細胞への分化誘導と再生医療への応用	斉藤 敦志	耳鼻咽喉科	1,299,728	補○ 委 文部科学省
干渉波電気刺激および薬剤投与に伴う嚥下惹起制御機構の解明	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
声帯溝症に対する羊膜移植を用いた声帯再生医療開発のための基礎研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部癌におけるautophagy異常に起因した癌治療抵抗性の解明と制御	新井 啓仁	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部癌薬物療法による免疫微小環境変化に基づく治療効果予測バイオマーカーの開発	竹中 まり	耳鼻咽喉科	910,000	補○ 委 文部科学省
声帯癬痕に対する新規エストロゲン治療法の開発	椋代 茂之	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
新規多重免疫組織化学法を用いた頭頸部癌不均一性と免疫的癌微小環境の解析	辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
多重免疫染色法およびイメージサイトメトリーを用いた内耳組織マクロファージの解析	二之湯 弦	耳鼻咽喉科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
甲状腺濾胞癌の発生と進行に関与する免疫的癌微小環境特性の同定	大村 学	耳鼻咽喉科	1,429,830	補○ 委 文部科学省
バーチャルリアリティを用いた強迫症短期集中治療プログラムの開発	中前 貴	精神科・心療内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
認知症高齢者に向けた情報支援のあり方に関する研究	浦久保 安輝子	精神科・心療内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
内受容感覚の計算論モデルに基づいた身体症状症に対する評価指標の開発	上野 大介	精神科・心療内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
身体症状症および関連症群に対するグループ認知行動療法の効果の実証	富永 敏行	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
バーチャルリアリティー技術を用いた契約場面における意思決定能力評価法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	650,000	補○ 委 文部科学省
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床疫学的研究	綾仁 信貴	精神科・心療内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
凍結療法における隣接臓器傷害防止のための生体吸収性バルーン型スペーサーの開発	廣田 達哉	放射線科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
数値モデルを用いた肝細胞がんに対するスキヤニング陽子線治療戦略最適化に向けた検討	尾方 俊至	放射線科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
低出生体重児の発達予測における画像バイオマーカーの開発	赤澤 健太郎	放射線科	520,000	補○ 委 文部科学省
陽子線治療スポットスキヤニング方式用新規レンジシフトベッドの開発	太田 誠一	放射線科	650,000	補○ 委 文部科学省
PET,CT,MRIによる包括的映像法を用いた不安定プラークの病態評価	玉木 長良	放射線科	4,169,970	補○ 委 文部科学省
放射線皮膚炎の安価で簡便な普及型ユビキタス定量評価システムの開発	鈴木 弦	放射線科	157,607	補○ 委 文部科学省
3次元ポリマーゲル線量計を利用した高線量率小線源治療の品質保証の開発	武中 正	放射線科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
CFD解析を用いた球状塞栓物質の動態シミュレーション	三浦 寛司	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
高い抗腫瘍効果と副作用軽減を同時に目指す新規放射線治療法	長澤 慎介	放射線科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
乳房MRI・非腫瘍性造影効果に対するマルチパラメトリック診断手法の確立	後藤 真理子	放射線科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響:MRIによる灌流、拡散、蠕動、硬度の検討	高畑 暁子	放射線科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
空間把握能力を持ったCTガイド下穿刺補助デバイスの開発	増井 浩二	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
内部水冷式針を用いた肺スリガラス結節に対する媒体注入下マイクロ波凝固療法の構築	吉川 達也	放射線科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
I-123 MIBG の定量解析法を用いた神経芽腫の治療戦略への応用	西村 元喜	放射線科	180,000	補○ 委 文部科学省
放射線治療ワークフローに即した深層学習を用いた新たな肺機能画像取得システムの開発	梶川 智博	放射線科	1,950,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MRI画像による虚血ペナンプラ領域における再灌流後の最終梗塞巣の予測	田添 潤	放射線科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
呼吸位相を加味した3次元位置情報による標的体内運動の4次元解析システムの開発	相部 則博	放射線科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
グローバルな脳活動—脳血流量—脳温度のMRI計測に関する基礎的検討	酒井晃二	共同研究講座 (臨床AI研究講座)	910,000	補○ 委 文部科学省
陽子線がん治療における生成反応断面積の測定及び体内線量評価システムの開発	松下慶一郎	共同研究講座 (次世代ホウ素中性子捕捉療法研究講座)	130,000	補○ 委 文部科学省
膵臓がん細胞株Panc-1におけるIL-6による放射線抵抗性獲得機構の解明	玉利勇樹	共同研究講座 (次世代ホウ素中性子捕捉療法研究講座)	1,430,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌病原性抗原の血清抗体価大規模疫学調査と抗緑膿菌ガンマグロブリン製剤試作	佐和 貞治	麻酔科	2,260,000	補○ 委 文部科学省
コンパートメントカルチャーを用いた神経障害性疼痛のメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
重症緑膿菌性肺炎に対するバクテリオファージ療法の前臨床試験	佐和 貞治	麻酔科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
術後痛におけるGRK2関連メカニズムの解析	山北 俊介	麻酔科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
医療崩壊の危機が迫るCOVID19パンデミック最前線の現場における実践の成り立ち	野口 綾子	麻酔科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌感染症の自然免疫における抗体価の経時的解析と最適な獲得免疫の判定基準の検討	木下 真央	麻酔科	780,000	補○ 委 文部科学省
MRSA肺炎に対するDDSを利用した複合抗体療法の開発	清水 優	麻酔科	1,418,932	補○ 委 文部科学省
慢性痛に対するTUDCA投与の治療効果の検証	山下 理比路	麻酔科	2,470,000	補○ 委 文部科学省
単球系細胞の小胞体ストレスによる食能低下に対し鎮静薬投与は保護的に作用するのか	飯田 淳	麻酔科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌由来エクソソームを用いた新規ワクチン療法の開発	加藤 秀哉	麻酔科	1,300,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Parkinとミトコンドリア機能不全に着目した慢性痛の新規治療戦略	天谷 文昌	疼痛・緩和ケア科	3,670,977	補○ 委 文部科学省
トロンピン増幅経路に関与する凝固因子の相互作用に着目した凝固因子濃縮剤の開発	小川 覚	疼痛・緩和ケア科	650,000	補○ 委 文部科学省
慢性術後痛への治療戦略の解明	松岡 豊	疼痛・緩和ケア科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
炎症性ミトコンドリアによる慢性痛発症の可能性とその機序の解明	天谷 文昌	疼痛・緩和ケア科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
姿勢からみる高齢者の活動 ― 京丹後長寿コホート研究 ―	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
サルコペニアを可視化する-拡散テンソル法を用いた骨格筋の機能描出-	大橋 鈴世	リハビリテーション科	520,000	補○ 委 文部科学省
硝子体疾患における眼内Tリンパ球6-color flow cytometry解析	稲葉 亨	臨床検査部	1,001,000	補○ 委 文部科学省
中間群および低悪性度に分類される原発性骨腫瘍の臨床病理学的解析	小西 英一	病院病理部	910,000	補○ 委 文部科学省
慢性腎臓病の尿細管間質病変形成における接着分子CADM1の役割	高島 康利	病院病理部	2,079,263	補○ 委 文部科学省
脳腸相関に着目した消化管グリアの動態と病態生理の解明	井村 徹也	病院病理部	780,000	補○ 委 文部科学省
肝細胞における免疫反応と毛細胆管破壊との関連の解明、移植後肝生検への応用	宮川 文	病院病理部	1,170,000	補○ 委 文部科学省
直接誘導骨芽細胞の疾患モデル動物への応用	滝沢 茂太	歯科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
培養3次元軟骨組織の構築と非破壊的解析技術による軟骨再生医療	足立 哲也	歯科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
軟骨オルガノイドの構築と非破壊的解析技術による軟骨再生医療への応用	足立 哲也	歯科	15,600,000	補○ 委 文部科学省
骨代謝制御機構に注目した歯周関連疾患におけるβ-クリプトキサンチンの有用性の検討	大迫 文重	歯科	1,382,962	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ラマン分光法を用いた単純ヘルペスウイルス感染と再活性化の分子機構の解明	足立 圭司	歯科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
生体アパタイトの配行性・結晶性を有した骨オルガノイドの構築と臨床応用への展開	金村 成智	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
架橋ナノゲルを用いた骨・軟骨オルガノイドの構築と量子ビームによるナノ構造解析	山本 俊郎	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
自家誘導骨芽細胞を含み自在な3D形状に構築できる再生治療用培養骨組織の開発	佐藤 良樹	歯科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
口腔内におけるヘリコバクターピロリ菌保有と全身感染および生活習慣因子との関連	岩井 浩明	歯科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
OCSTAMPを分子標的とした病的破骨細胞誘導の制御による骨吸収性疾患の再生治療	山本 健太	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

小計 6

計 261件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3-2)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Takuma Yoshida	消化器内科	A case of laparoscopy and endoscopy cooperative surgery for circumferential superficial nonampullary duodenal epithelial tumor.	VideoGIE. 2020 Jul 10;5(11):569-572.	Case report
2	Osamu Dohi	消化器内科	Efficacy and safety of endoscopic submucosal dissection using a scissors-type knife with prophylactic over-the-scope clip closure for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumors.	Digestive Endoscopy 2020 Sep;32(6):904-913.	Original Article
3	Osamu Dohi	消化器内科	Linked color imaging followed by magnifying blue laser imaging identifies early gastric cancer in map-like redness after successful Helicobacter pylori eradication.	Digestive Endoscopy 2020 Jul;32(5):e109-e111.	Case report
4	Tomoki Sakakida	消化器内科	Safety and tolerability of PD-1/PD-L1 inhibitors in elderly and frail patients with advanced malignancies.	Oncol Lett. 2020 Oct;20(4):14.	Original Article
5	Tomohisa Takagi	消化器内科	The efficacy of linked color imaging for the endoscopic diagnosis of mucosal healing in quiescent ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Mar 12.	Original Article
6	Yasuda Takeshi	消化器内科	Multiple Cerebral Infarction Associated with Cerebral Vasculitis in a Patient with Ulcerative Colitis.	Intern Med. 2021 Jan 1;60(1):59-66.	Case report
7	Yasuda Takeshi	消化器内科	Mycosis fungoides in a patient with ulcerative colitis on anti-tumor necrosis factor- α therapy.	Clin J Gastroenterol. 2021 Feb;14(1):170-175.	Original Article
8	Naohisa Yoshida	消化器内科	An especially thin Lase colonoscope enabled precutting endoscopic mucosal resection of proximal T1 cancer in a case of stenotic rectal cancer.	Dig Endosc 2021 Jan;33:e16-e18.	Case report
9	Michihisa Moriguchi	消化器内科	Intrahepatic Tumor Burden as a Novel Factor Influencing the Introduction of Second-line Chemotherapy for Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2020 Jul;40(7):3953-3960.	Original Article
10	Yuya Seko	消化器内科	Attenuated effect of PNPLA3 on hepatic fibrosis by HSD17B13 in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Liver Int. 2020 Jul;40(7):1686-1692.	Original Article
11	Shinya Okishio	消化器内科	PPAR α agonist and metformin co-treatment ameliorates NASH in mice induced by a choline-deficient, amino acid-defined diet with 45% fat.	Sci Rep. 2020 Nov 11;10(1):19578.	Original Article
12	Hiroshi Ishiba	消化器内科	Type IV Collagen 7S Is the Most Accurate Test For Identifying Advanced Fibrosis in NAFLD With Type 2 Diabetes.	Hepatol Commun. 2020 Nov 16;5(4):559-572.	Original Article
13	Seko Yuya	消化器内科	Effect of pemafibrate on fatty acid levels and liver enzymes in non-alcoholic fatty liver disease patients with dyslipidemia: A single-arm, pilot study	Hepatol Res . 2020 Dec;50(12):1328-1336.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
14	Murakami Takaaki	消化器内科	Local recurrence and its risk factors after cold snare polypectomy of colorectal polyps	Surgical Endoscopy. 34 (7) 2918-2925, 2020 Jul.	Original Article
15	Yasuda Takeshi	消化器内科	Mycosis fungoides in a patient with ulcerative colitis on anti-tumor necrosis factor- α therapy	Clinical journal of Gastroenterology. 14 (1) 170-175, 2021 Feb.	Original Article
16	Maeda Ryotaro, Kami D, Shikuma A et al.	循環器内科	RNA decay in processing bodies is indispensable for adipogenesis	Cell Death and Disease. 2021 Mar 17;12(4):285.	Original Article
17	Kadoya Yoshito, Zen K, Fukai K et al.	循環器内科	Recurrent Infective Endocarditis Following Transcatheter Edge-to-Edge Mitral Valve Repair with MitraClip System.	Korean Circulation Journal. 2021 Mar;51(3):283-285.	Case report
18	Kadoya Yoshito, Zen K, Iida O et al.	循環器内科	Thrombotic Lesions are Associated with Poor Outcomes after Endovascular Treatment in Patients with Non-Acute Aortoiliac Total Occlusions.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 2021 Feb 10.	Case report
19	Shoji Keisuke, Zen K, Ookura T et al.	循環器内科	Early stent thrombosis confirmed in a cancer patient receiving regorafenib, despite triple antithrombotic therapy: a case report.	BMC Cardiovascular Disorders. 2021 Jan 30;21(1):60.	Case report
20	Ito Nobuyasu, Zen K, Kuwabara K et al.	循環器内科	Recapture failure in transcatheter aortic valve replacement with CoreValve Evolut R.	Catheterization and Cardiovascular Interventions. 2021 Jan 22.	Case report
21	Senoo Keitaro, Nakata M, Teramukai S et al.	循環器内科	Relationship Between Body Mass Index and Incidence of Atrial Fibrillation in Young Japanese Men - The Nishimura Health Survey.	Circulation Journal. 2021 Feb 25;85(3):243-251.	Original Article
22	Miki Tomonori, Shirayama T, Ogura K et al.	循環器内科	Atrial flutter after surgeries of congenitally corrected transposition of great arteries in total visceral inversion.	Journal of Arrhythmia. 2021 Jan 17;37(2):445-447.	Case report
23	Klionsky DJ, Abdel-Aziz AK, Abdelfatah S et al.	循環器内科	Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy (4th edition)1.	Autophagy. 2021 Jan;17(1):1-382.	Original Article
24	Yamano Michiyo, Yamano T, Takamatsu K et al.	循環器内科	Prolonged Elevation of Tricuspid Regurgitation Pressure Gradient After Exercise in Patients With Exercise-induced Pulmonary Hypertension.	American Journal of Cardiology. 2021 Mar 1;142:124-129.	Original Article
25	Kadoya Yoshito, Zen K, Yamamoto K et al.	循環器内科	Coronary Embolism Secondary to Prosthetic Valve Endocarditis After Transcatheter Aortic Valve Replacement.	JACC: Cardiovascular Interventions. 2020 Dec 14;13(23):2813-2814.	Case report
26	Shoji Keisuke, Yanishi K, Wakana N et al.	循環器内科	Acute coronary syndrome with large thrombus successfully managed with no-stenting revascularization based on intravascular imaging in a patient with hyperhomocysteinemia: a case report.	Journal of Medical Case Reports. 2020 Nov 9;14(1):214.	Case report
27	Tsuji Yumika, Miki T, Sato Y et al.	循環器内科	A case of cardiac tamponade due to coronary artery injury caused by atrial screw-in lead.	Journal of Cardiology Cases. 2020 Oct 13;23(2):80-82.	Case report
28	Miki Tomonori, Yamano T, Yamano M et al.	循環器内科	Favorable changes of left ventricular function in the circumferential direction following transcatheter atrial septal defect closure: a strain imaging study.	International Journal of Cardiovascular Imaging. 2021 Mar;37(3):903-912.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
29	Shoji Keisuke, Zen K, Yanishi K et al.	循環器内科	Two effective cases of additional pedal artery angioplasty for severe lower limb ischemia following acute thrombotic artery occlusion with hypercoagulable state diseases.	CVIR Endovascular. 2020 Sep 28;3(1):71.	Case report
30	Yamanaka Ryoetsu, Hoshino A, Fukai K et al.	循環器内科	TIGAR reduces smooth muscle cell autophagy to prevent pulmonary hypertension.	American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology. 2020 Nov 1;319(5):H1087-H1096.	Original Article
31	Fujioka Ayumu, Yanishi K, Shoji K et al.	循環器内科	Therapeutic Angiogenesis Using Bone Marrow-Derived Mononuclear Cell Implantation for Patients With Critical Limb-Threatening Ischemia Caused by Thromboangiitis Obliterans - Study Protocol for a Multicenter Prospective Interventional Trial.	Circulation Reports. 2020 Sep 15;2(10):630-634.	Original Article
32	Shoji Keisuke, Zen K, Yanishi K et al.	循環器内科	Partial stent extraction 14 months after stent implantation as a complication of cutting balloon.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics.2020 Sep 10.	Case report
33	Yashige Masaki, Zen K, Kadoya Y et al.	循環器内科	Snaring wire technique during transcatheter aortic valve replacement.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics.2020 Sep 2.	Case report
34	Miki Tomonori, Senoo K, Okura T et al.	循環器内科	First episode of ventricular fibrillation in an 84-year-old man with long-QT type 2 syndrome: A case report.	Journal of Cardiology Cases.2020 Aug 17;22(6):257-259.	Case report
35	Senoo Keitaro, Nakata M, Teramukai S et al.	循環器内科	Age-Specific Association Between Body Mass Index and the Incidence of Atrial Fibrillation in Japanese Men.	Circulation Reports.2020 Aug 13;2(9):466-470.	Original Article
36	Kadoya Yoshito, Zen K, Wakana N et al.	循環器内科	Knowledge, perception, and level of confidence regarding COVID-19 care among healthcare workers involved in cardiovascular medicine: a web-based cross-sectional survey in Japan.	Journal of Cardiology. 2021 Mar;77(3):239-244.	Original Article
37	Haruna Yusuke, Kawasaki T, Kikkawa Y et al.	循環器内科	Xanthopsia Due to Digoxin Toxicity as a Cause of Traffic Accidents: A Case Report.	American Journal of Case Reports. 2020 Aug 8;21:e924025.	Case report
38	Kadoya Yoshito, Zen K, Yaku H et al.	循環器内科	Simultaneous transfemoral valve-in-valve transcatheter aortic valve replacement and debranching thoracic endovascular aortic repair through a tortuous and shaggy aorta: a case report.	European Heart Journal - Case Reports. 2020 Jul 28;4(4):1-5.	Case report
39	Barinda AJ, Ikeda K, Nugroho DB et al.	循環器内科	Publisher Correction: Endothelial progeria induces adipose tissue senescence and impairs insulin sensitivity through senescence associated secretory phenotype.	Nature Communications. 2020 Jul 28;11(1):3837.	Original Article
40	Takigami Masao, Itatani K, Nakanishi N et	循環器内科	Reconstruction of right ventricular outflow tract stenosis and right ventricular failure after Ross procedure - comprehensive assessment of adult congenital heart disease with four-dimensional imaging: a case report.	Journal of Medical Case Reports. 2020 Jul 23;14(1):113.	Case report
41	Katane Masumi, Motoba R, Ariyoshi M et al.	循環器内科	A colorimetric assay method for measuring d-glutamate cyclase activity.	Analytical biochemistry. 2020 Sep 15;605:113838.	Original Article
42	Senoo Keitaro, Miki T, Okura T et al.	循環器内科	Diagnostic Value of Atrial Fibrillation by Built-in Electrocardiogram Technology in a Blood Pressure Monitor.	Circulation Reports. 2020 May 27;2(7):345-350.	Original Article
43	Kadoya Yoshito, Zen K, Takigami M et al.	循環器内科	Multiple Small Bowel Perforations Associated With Cholesterol Crystal Embolization After Transcatheter Aortic Valve Replacement.	JACC: Cardiovascular Interventions.2020 Dec 14;13(23):2813- 2814.2020 Aug 10;13(15):1831-1832.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
44	Miki Tomonori, Shirayama T, Shiraishi H et al.	循環器内科	Pauses in atrial rhythm in a patient with limb-girdle muscular dystrophy: A case report.	Journal of Electrocardiology. 2020 May-Jun;60:209-211.	Case report
45	Chieko Sakai, Kawasaki T, Sugihara H et al.	循環器内科	The Bezold-Jarisch reflex in a patient with coronary spastic angina.	Annals of Noninvasive Electrocardiology.2020 Nov;25(6):e12759.	Case report
46	Shinichiro Motoyama, Yamada H, Yamamoto K et al.	循環器内科	Social Stress Increases Vulnerability to High-Fat Diet-Induced Insulin Resistance by Enhancing Neutrophil Elastase Activity in Adipose Tissue.	Cells. 2020 Apr 16;9(4):996.	Original Article
47	Naotoshi Wada, Yamada H, Motoyama S et al.	循環器内科	Maternal high-fat diet exaggerates diet-induced insulin resistance in adult offspring by enhancing inflammasome activation through noncanonical pathway of caspase-11.	Molecular Metabolism. 2020 Jul;37:100988.	Original Article
48	Kuwabara Kensuke, Zen K, Yashige M et al.	循環器内科	Comparative Analysis of the Paclitaxel-Eluting Peripheral Igaki-Tamai Stent and the Drug-Free Igaki-Tamai Stent Using Optical Coherence Tomography and Histological Analysis in a Porcine Iliac Artery Model.	Circulation Journal.2020 Apr 24;84(5):799-805.	Original Article
49	Miki Tomonori, Shiraishi H, Shirayama T et al.	循環器内科	Tachycardiomyopathy Caused by a Pseudo-Ventricular Tachycardia: The Role of Imaging and Ablation in Diagnosis and Treatment.	JACC: Case Reports. 2020 Apr 15;2(4):572-576.	Case report
50	Maeda Hideki, Kami D, Maeda R et al.	循環器内科	TAT-dextran-mediated mitochondrial transfer enhances recovery from models of reperfusion injury in cultured cardiomyocytes.	Journal of Cellular and Molecular Medicine. 2020 May;24(9):5007-5020.	Original Article
51	Kasai Kenichi, Kawasaki T, Hashimoto S et al.	循環器内科	Response of Jugular Venous Pressure to Exercise in Patients With Heart Failure and Its Prognostic Usefulness.	American Journal of Cardiology.2020 May 15;125(10):1524-1528.	Original Article
52	Yamano Michiyo, Yamano T, Nakamura T et al.	循環器内科	Appropriate selection of echocardiographic guidance for transcatheter atrial septal defect closure.	International Journal of Cardiovascular Imaging.2020 May;36(5):855-863.	Case report
53	Miki Tomonori, Shiraishi H, Shirayama T et al.	循環器内科	Improvement in Exercise Tolerance after Catheter Ablation for Premature Ventricular Complexes: A Case Report.	Progress in Rehabilitation Medicine. 2020 Nov 17;5:20200028.	Case report
54	Kawamata Hirofumi, Kawasaki T, Sugihara H et al.	循環器内科	Myocardial damage of the entire ventricular region in a patient with acute myocardial infarction.	Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine & Biology.2020 Dec;8(1):69-73.	Case report
55	Sato Yoshimi, Shiraishi H, Nakanishi N et al.	循環器内科	Clinical significance of rectus femoris diameter in heart failure patients.	Heart and Vessels. 2020 May;35(5):672-680.	Original Article
56	Wakana Noriyuki, Zen K, Kambayashi D et al.	循環器内科	A newly designed 0.018-in.-compatible inner dilator as a novel option for endovascular therapy with the crossover approach.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics.. 2020 Jul;35(3):276-282.	Original Article
57	Kadoya Yoshito, Zen K, Tamaki N et al.	循環器内科	Early effects of transcatheter aortic valve replacement on cardiac sympathetic nervous function assessed by 123I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy in patients with severe aortic valve stenosis.	European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging. 2020 Jul;47(7):1657-1667.	Original Article
58	Yamashita Noriyuki, Kusaba T, Nakata T et al.	腎臓内科	Intratubular epithelial-mesenchymal transition and tubular atrophy after kidney injury in mice.	American Journal of Physiology-Renal Physiology. 2020 Oct 1;319(4):F579-F591.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
59	Ikeda Kisho, Kusaba T, Tomita A et al.	腎臓内科	Diverse Receptor Tyrosine Kinase Phosphorylation in Urine-Derived Tubular Epithelial Cells from Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease Patients.	Nephron. 2020 Aug 14;144(10):525-536.	Original Article
60	Okura N	呼吸器内科	ONO-7475, a Novel AXL Inhibitor, Suppresses the Adaptive Resistance to Initial EGFR-TKI Treatment in EGFR-Mutated Non-Small Cell Lung Cancer.	Clin Cancer Res. 2020 May 1;26(9):2244-2256.	Original Article
61	Kaneko Y	呼吸器内科	Respiratory complications of Stevens-Johnson syndrome (SJS): 3 cases of SJS-induced obstructive bronchiolitis.	Allergol Int. 2020 Jul;69(3):465-467.	Original Article
62	Onoi K	呼吸器内科	Immune Checkpoint Inhibitors for Lung Cancer Treatment: A Review.	J Clin Med. 2020 May 6;9(5):1362.	Review
63	Takayama K	呼吸器内科	Randomized Phase II Study of First-Line Biweekly Gemcitabine and Carboplatin Versus Biweekly Gemcitabine and Carboplatin plus Maintenance Gemcitabine in Elderly Patients with Untreated Non-Small Cell Lung Cancer: LOGIK0801.	Oncologist. 2020 Aug;25(8):e1146-e1157.	Original Article
64	Yamada T	呼吸器内科	Rationale and design of a phase II trial of durvalumab treatment in patients with NSCLC ineligible for stage III chemoradiotherapy following radiation monotherapy (SPIRAL-RT study).	Ther Adv Med Oncol. 2020 May 28;12:1758835920927841	Original Article
65	Okura N	呼吸器内科	Endocrinopathies Associated with Immune Checkpoint Inhibitor Cancer Treatment: A Review.	J Clin Med. 2020 Jun 29;9(7):2033.	Original Article
66	Kaneko Y	呼吸器内科	The Quality of Life of Patients with Suspected Lung Cancer before and after Bronchoscopy and the Effect of Mirtazapine on the Depressive Status.	Intern Med. 2020 Jul ;59(13):1605-1610.	Original Article
67	Matsui Y	呼吸器内科	Advanced G-CSF-producing non-small cell lung cancer-not otherwise specified, with favourable response to pembrolizumab monotherapy.	Respirol Case Rep. 2020 Jul 16;8(7):e00625.	Case report
68	Hamashima R	呼吸器内科	Association of immune checkpoint inhibitors with respiratory infections: A review.	Cancer Treat Rev. 2020 Nov;90:102109.	Review
69	Katayama Y	呼吸器内科	Significance of inflammatory indexes in atezolizumab monotherapy outcomes in previously treated non-small-cell lung cancer patients.	Sci Rep. 2020 Oct 15;10(1):17495.	Original Article
70	Morimoto K	呼吸器内科	Impact of preexisting antinuclear antibodies on combined immunotherapy and chemotherapy in advanced non-small cell lung cancer patients.	Med Oncol. 2020 Nov 11;37(12):111.	Original Article
71	Seto Y	呼吸器内科	Prognostic factors in older patients with wild-type epidermal growth factor receptor advanced non-small cell lung cancer: a multicenter retrospective study.	Transl Lung Cancer Res. 2021 Jan;10(1):193-201.	Original Article
72	Morimoto K	呼吸器内科	Immune-Related Adverse Events Are Associated With Clinical Benefit in Patients With Non-Small-Cell Lung Cancer Treated With Immunotherapy Plus Chemotherapy: A Retrospective Study.	Front Oncol. 2021 Mar 23;11:630136.	Original Article
73	Hamaguchi Masahide,	内分泌・糖尿病・代謝内科	Changes in metabolic complications in patients with alcoholic fatty liver disease monitored over two decades: NAGALA study.	BMJ Open Gastro. 7(1): e000359. doi: 10.1136/bmjgast-2019-000359, 2020.Apr	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
74	Ushigome Emi,	内分泌・糖尿病・代謝内科	Critical discrepancy in blood glucose control levels evaluated by glycated albumin and estimated hemoglobin A1c levels determined from a flash continuous glucose monitoring system in patients with type 2 diabetes on hemodialysis.	J. Diabetes Invest. 11(6): 1570-1574, 2020.Nov	Original Article
75	Ushigome Emi,	内分泌・糖尿病・代謝内科	Usefulness and Safety of Remote Continuous Glucose Monitoring for a Severe COVID-19 Patient with Diabetes.	Diabetes Technol. Ther. 23(1): 78-80, 2021 Jan.	Original Article
76	Takahashi Fuyuko	内分泌・糖尿病・代謝内科	Eating Fast Is Associated with Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Men But Not in Women with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study	Nutrients 12(8): 2174, 2020 Jul.	Original Article
77	Takahashi Fuyuko	内分泌・糖尿病・代謝内科	Habitual Miso (Fermented Soybean Paste) Consumption Is Associated with a Low Prevalence of Sarcopenia in Patients with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study.	Nutrients 13(1): E72, 2020 Dec.	Original Article
78	Hashimoto Yoshitaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Intake of sucrose affects gut dysbiosis in patients with type 2 diabetes.	J. Diabetes Investig. 11(6): 1623-1634, 2020 Nov.	Original Article
79	Hashimoto Yoshitaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of probiotics, Bifidobacterium bifidum G9-1, on gastrointestinal symptoms in patients with type 2 diabetes mellitus: study protocol for open-label, single-arm, exploratory research trial (Big STAR study).	J. Clin. Biochem. Nutr. 67(3): 223-227, 2020 Nov.	Original Article
80	Hashimoto Yoshitaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of Exercise Habit on Skeletal Muscle Mass Varies with Protein Intake in Elderly Patients with Type 2 Diabetes: A Retrospective Cohort Study.	Nutrients 12(10): 3220, 2020 Oct.	Original Article
81	Hashimoto Yoshitaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Serum levels of mac-2 binding protein are associated with diabetic microangiopathy and macroangiopathy in people with type 2 diabetes	BMJ Open Diabetes Res. Care 8(1): e001189, 2020 Aug.	Original Article
82	Hashimoto Yoshitaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between sleep disorder and quality of life in patients with type 2 diabetes: a cross-sectional study.	BMC Endocr. Disord. 20 (1): 98, 2020 Jun.	Original Article
83	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of alcohol consumption and the presence of fatty liver on the risk for incident type 2 diabetes: a population-based longitudinal study.	BMJ Open Diabetes Res. Care 8(1): e001629, 2020 Sep.	Original Article
84	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	Triglyceride-glucose index (TyG index) is a predictor of incident colorectal cancer: a population-based longitudinal study.	BMC Endocr. Disord. 20(1): 113, 2020 Jul.	Original Article
85	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	Visceral Adiposity Index is a predictor of incident colorectal cancer: a population-based longitudinal study.	BMJ Open Gastroenterol. 7(1): e000400, 2020 Jun.	Original Article
86	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	The visceral adiposity index is a predictor of incident nonalcoholic fatty liver disease: A population-based longitudinal study.	Clin. Res. Hepatol. Gastroenterol. 44(3): 375-383, 2020 Jun.	Original Article
87	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	Immune modulating effects of additional supplementation of estradiol combined with testosterone in murine testosterone-deficient NAFLD model.	Am. J. Physiol. Gastrointest. Liver. Physiol. 318(6): G989-G999, 2020 Jun.	Original Article
88	Okamura Takuro	内分泌・糖尿病・代謝内科	Fukui M. Reduced dietary omega-3 fatty acids intake is associated with sarcopenia in elderly patients with type 2 diabetes: a cross-sectional study of KAMOGAWA-DM cohort study.	J. Clin. Biochem. Nutr. 66(3): 233-237, 2020 May.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
89	Shimura Y, Tsukamoto T, Yamaguchi J, et al.	血液内科	Toward further simplification of elotuzumab therapy by subcutaneous administration.	Int J Hematol. 2020 Sep;112(3):427-428.	Original Article
90	Nishiyama D, Chinen Y, Isa R, et al.	血液内科	EWSR1 overexpression is a pro-oncogenic event in multiple myeloma.	Int J Hematol. 2021 Mar;113(3):381-394.	Original Article
91	Sakiyama E, Chinen Y, Tsukamoto T, et al.	血液内科	Tuberculosis Peritonitis During Treatment of Polycythemia Vera with Ruxolitinib.	Infect Drug Resist. 2020 Apr 8;13:1017-1021.	Case report
92	Kuwahara- Ota S, Shimura Y, Steinebach C, et al.	血液内科	Lenalidomide and pomalidomide potently interfere with induction of myeloid-derived suppressor cells in multiple myeloma.	Br J Haematol. 2020 Dec;191(5):784-795.	Original Article
93	Fujibayashi Y, Isa R, Nishiyama D, et al.	血液内科	Aberrant BUB1 Overexpression Promotes Mitotic Segregation Errors and Chromosomal Instability in Multiple Myeloma.	Cancers (Basel). 2020 Aug 6;12(8):2206.	Original Article
94	Matsumura- Kimoto Y, Tsukamoto T, Shimura Y, et al.	血液内科	Serine-227 in the N-terminal kinase domain of RSK2 is a potential therapeutic target for mantle cell lymphoma.	Cancer Med. 2020 Jul;9(14):5185-5199.	Original Article
95	Kawaji- Kanayama Y, Nishimura A, Yasuda M, et al.	血液内科	Chronic Invasive Fungal Rhinosinusitis with Atypical Clinical Presentation in an Immunocompromised Patient.	Infect Drug Resist. 2020 Sep 18;13:3225-3232.	Case report
96	Yu-Ichi Noto	脳神経内科	High-density surface electromyography to assess motor unit firing rate in Charcot-Marie-Tooth disease type 1A patients.	Clin Neurophysiol. 2021 Mar;132(3):812-818.	Original Article
97	Fukiko Kitani-Morii	脳神経内科	Risk factors for neuropsychiatric symptoms in patients with Parkinson's disease during COVID-19 pandemic in Japan	PLoS One . 2021 Jan 22;16(1):e0245864.	Original Article
98	Shinji Ashida	脳神経内科	Immune Skew of Circulating Follicular Helper T Cells Associates With Myasthenia Gravis Severity.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm. 2021 Jan 12;8(2):e945.	Original Article
99	Makiko Shinomoto	脳神経内科	Cerebral spinal fluid biomarker profiles in CNS infection associated with HSV and VZV mimic patterns in Alzheimer's disease.	Transl Neurodegener. 2021 Jan 4;10(1):2.	Original Article
100	Tomoyuki Ohara	脳神経内科	Thrombus Migration and Fragmentation After Intravenous Alteplase Treatment: The INTERSeCT Study.	Stroke. 2021 Jan;52(1):203-212.	Original Article
101	Yukiko Tsuji	脳神経内科	Difference in distribution of fasciculations between multifocal motor neuropathy and amyotrophic lateral sclerosis.	Clin Neurophysiol. 2020 Dec;131(12):2804-2808.	Original Article
102	Fukiko Kitani-Morii	脳神経内科	Recent Advances in Drosophila Models of Charcot-Marie-Tooth Disease.	Int J Mol Sci. 2020 Oct 8;21(19):7419.	Review
103	Yuta Kojima	脳神経内科	Charcot-Marie-Tooth disease type 1A: Longitudinal change in nerve ultrasound parameters.	Muscle Nerve. 2020 Dec;62(6):722-727.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
104	Ryotaro Ishii	脳神経内科	Effect of Migraine on Pregnancy Planning: Insights From the American Registry for Migraine Research.	Mayo Clin Proc. 2020 Oct;95(10):2079-2089.	Original Article
105	Akiko Watanabe-Hosomi	脳神経内科	Effect of Lomerizine Hydrochloride on Preventing Strokes in Patients With Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy With Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy.	Clin Neuropharmacol. 2020 Sep/Oct;43(5):146-150.	Original Article
106	Tomokatsu Yoshida	脳神経内科	Clinical characteristics of Alexander disease.	Neurodegener Dis Manag. 2020 Oct;10(5):325-333.	Original Article
107	Daiki Takewaki	脳神経内科	Alterations of the gut ecological and functional microenvironment in different stages of multiple sclerosis.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2020 Sep 8;117(36):22402-22412.	Original Article
108	Fukiko Kitani-Morii	脳神経内科	Rate of Changes in CMT Neuropathy and Examination Scores in Japanese Adult CMT1A Patients.	Front Neurol. 2020 Jul 16;11:626.	Original Article
109	Rei Yasuda	脳神経内科	Adult-onset leukoencephalopathy with homozygous LAMB1 missense mutation.	Neurol Genet. 2020 May 19;6(4):e442.	Case report
110	Toshiki Mizuno	脳神経内科	Clinical and Genetic Aspects of CADASIL.	Front Aging Neurosci. 2020 May 7;12:91.	Review
111	Mao Mukai	脳神経内科	Genotype-phenotype correlations and effect of mutation location in Japanese CADASIL patients.	J Hum Genet . 2020 Aug;65(8):637-646.	Original Article
112	Komatsu S, Kosuga T, Kubota T, et al.	消化器外科	Comparison of short- and long-term outcomes following laparoscopy and open total gastrectomy for gastric cancer: a propensity score-matched analysis	American Journal of Translational Research.2020 May; 12(5): 2225-33	Original Article
113	Katsurahara K, Shiozaki A, Kosuga T, et al.	消化器外科	ANO9 Regulated Cell Cycle in Human Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Annals of Surgical Oncology 2020 Sep; 27(9): 3218-30	Original Article
114	Kubota T, Shoda K, Konishi H, et al.	消化器外科	Nutrition update in gastric cancer surgery	Annals of Gastroenterological Surgery.2020 Jul; 4(4): 360-8	Original Article
115	Matsubara D, Konishi H, Arita T, et al.	消化器外科	Involvement of Intracellular and Extracellular High-Mobility Group Box-1 in the Progression of Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Annals of Surgical Oncology 2020 Sep; 27(9): 3233-44	Original Article
116	Kubota T, Shoda K, Ogawa S, et al.	消化器外科	Oncological Safety of Ultrasonically Activated Surgical Devices During Gastric Cancer Surgery	Anticancer Research 2020 Jun; 40(6): 3163-7	Original Article
117	Kudou M, Kosuga T, Otsuji E.	消化器外科	Artificial intelligence in gastrointestinal cancer: Recent advances and future perspectives	Artificial Intelligence in Gastroenterology 2020 Nov ; 1(4): 71-85	Original Article
118	Nanishi K, Konishi H, Shoda K, et al.	消化器外科	Circulating circERBB2 as a potential prognostic biomarker for gastric cancer: An investigative study	Cancer Science 2020 Nov; 111(11): 4177-86	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
119	Shiozaki A, Marunaka Y, Otsuji E.	消化器外科	Roles of Ion and Water Channels in the Cell Death and Survival of Upper Gastrointestinal Tract Cancers	Frontiers in Cell and Developmental Biology 2021 Mar ; 9: 616933	Original Article
120	Kubota T, Shoda K, Ushigome E, Kosuga T, Konishi H, et al.	消化器外科	Utility of continuous glucose monitoring following gastrectomy	Gastric Cancer 2020 Jul; 23(4): 699–706	Original Article
121	Matsumoto T, Murayama Y, Matsuo H, et al.	消化器外科	5-ALA-assistant automated detection of lymph node metastasis in gastric cancer patients.	Gastric Cancer 2020 Jul; 23(4): 725–33	Original Article
122	Takao K, Konishi H, Fujiwara H, et al.	消化器外科	Clinical Significance of Prognostic Nutritional Index in the Treatment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma	In Vivo 2020 Nov–Dec; 34(6): 3451–7	Original Article
123	Matsubara D, Arita T, Nakanishi M, et al.	消化器外科	The impact of postoperative inflammation on recurrence in patients with colorectal cancer.	International Journal of Clinical Oncology 2020 Apr; 25(4): 602–13	Original Article
124	Nishibeppu K, Komatsu S, Kiuchi J, et al.	消化器外科	TRIM37 contributes to malignant outcomes and CDDP resistance in gastric cancer	Journal of cancer 2021 Jan; 12(2): 316–25	Original Article
125	Komatsu S, Kosuga T, Kubota T, et al.	消化器外科	Non-flap hand-sewn esophagogastrostomy as a simple anti-reflux procedure in laparoscopic proximal gastrectomy for gastric cancer	Langenbeck's Archives of Surgery 2020 Jun; 405(4): 541–9	Original Article
126	Nanishi K, Shoda K, Kubota T, et al.	消化器外科	Diagnostic accuracy of the gastric cancer T-category with respect to tumor localization.	Langenbeck's Archives of Surgery 2020 Sep; 405(6): 787–96	Original Article
127	Shiozaki A, Kudou M, Fujiwara H, et al.	消化器外科	Clinical safety and efficacy of neoadjuvant combination chemotherapy of tranilast in advanced esophageal squamous cell carcinoma: Phase I/II study (TNAC).	Medicine (Baltimore) 2020 Dec; 99(50): e23633.	Original Article
128	Shiozaki A, Fujiwara H, Konishi H, et al.	消化器外科	Advances and understanding pitfalls of laparoscopic transhiatal esophagectomy with en bloc mediastinal lymph node dissection	Mini-invasive Surgery 2020 Aug; 4: 50.	Original Article
129	Katsurahara K, Shiozaki A, Fujiwara H, et al.	消化器外科	Clinical significance of the distance between the cricoid cartilage and upper edge of the tumor using PET-CT in cervical esophageal cancer.	oncology letters 2020 Oct; 20(4): 40	Original Article
130	Shibamoto J, Shoda K, Kubota T, et al.	消化器外科	Prognostic impact of the preoperative hemoglobin A1c levels in patients with gastric cancer surgery depends on postoperative complications.	Surgical Today 2021Mar; 51(3): 422–31	Original Article
131	Morichi H, Itatani K, Yamazaki S, Numata S, et al.	心臓血管外科	Influences of mitral annuloplasty on left ventricular flow dynamics assessed with 3-dimensional cine phase-contrast flow magnetic resonance imaging	J Thorac Cardiovasc Surg. 2020 May 15;S0022-5223(20)31103-X. doi: 10.1016	Original Article
132	Yamazaki S, Numata S, Yaku H.	心臓血管外科	Surgical intervention for ischemic mitral regurgitation: how can we achieve better outcomes?	Surg Today . 2020 Jun;50(6):540-550. doi: 10.1007	Original Article
133	Hohri Y, Yamazaki S, Numata S, et al.	心臓血管外科	Delayed patch repair of a ruptured mitral subvalvular pseudoaneurysm caused by infective endocarditis: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2020 Jun 17;4(4):1-6. doi: 10.1093	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
134	Kanzaki T, Numata S, Yamazaki S, et al	心臓血管外科	Computational fluid dynamics of internal mammary artery-left anterior descending artery anastomoses	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2020 Nov 1;31(5):611-617. doi: 10.1093	Original Article
135	Shuhei Fujita	小児心臓血管外科	Reply to Briceno-Medina and Kumar	Eur J Cardiothorac Surg.2020 Aug 30	Letter
136	Shuhei Fujita	小児心臓血管外科	Long-term results of large-calibre expanded polytetrafluoroethylene-valved conduits with bulging sinuses	Eur J Cardiothorac Surg.2020 Dec 1;58(6):1274-1280	Original Article
137	Okada Satoru	呼吸器外科	Isolated Diaphragmatic Metastasis Originating from Early Endometrial Cancer	Ann Thorac Surg. 110 e27-29, 2020 Jul.	Original Article
138	Ouchi Yoshimi	内分泌・乳腺外科	The effect of denosumab in breast cancer patients receiving adjuvant aromatase inhibitors:36-month results	Journal of Bone and Mineral Metabolism. 39 (2) 224-229, 2021 Mar.	Original Article
139	Tamaki Morisako	脳神経外科	Primary CNS CD45-Depleted T-Cell Lymphoma: The First Pathologically Confirmed Case	J Neuropathol Exp Neurol. 79 (7) 817-820, 2020 Jul.	Original Article
140	Daisuke Maruyama	脳神経外科	FLAIR vascular hyperintensity with DWI for regional collateral flow and tissue fate in recanalized acute middle cerebral artery occlusion.	Eur J Radiol 2020年12月	Original Article
141	Seisuke Tanigawa	脳神経外科	Inhibition of Gli2 suppresses tumorigenicity in glioblastoma stem cells derived from a de novo murine brain cancer model.	Cancer Gene Ther 2021年1月	Original Article
142	Arai Yuji	整形外科	Revascularization to the bone tunnel wall after anterior cruciate ligament reconstruction may relate to the distance from the vessels	Knee Surgery& Related Research Oct.6;32(1)53,2020	Original Article
143	Fujii Yuta	整形外科	Clinical outcomes after medial patellofemoral ligament reconstruction: an analysis of changes in the patellofemoral joint alignment	International Orthopaedics, 2020 Aug.7	Original Article
144	Hayashi Daichi	整形外科	Pristimerin inhibits the proliferation of HT1080 fibrosarcoma cells by inducing apoptosis.	Oncology Letters,19(4),2963-2970,2020 Apr	Original Article
145	Itsuji Tomonori	整形外科	Hepatocyte growth factor regulates HIF-1 α -induced nucleus pulposus cell proliferation through MAPK-, PI3K/Akt-, and STAT3-mediated signaling.	Journal of orthopaedic Research, 2020Apr12	Original Article
146	Nakagawa Shuji	整形外科	Relationship of alignment in the lower extremity with early degeneration of articular cartilage after resection of the medial meniscus: Quantitative analysis using T2 mapping	Medicine (Baltimore)99,e22984,2020. Oct	Original Article
147	Onishi Okihiro	整形外科	Cryptococcal Osteomyelitis of the Entire Humerus: A Case Report	JBJS Case Connector 10,e20.00279.2020 Oct-Dec	Case report
148	Tomomura Hitoshi	整形外科	The Potential Role of Hepatocyte Growth Factor in Degenerative Disorders of the Synovial Joint and Spine.	International Journal of Molecular Sciences,18,8717,2020, Nov	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
149	Yoshida Takashi	整形外科	Langenskiöld Procedure for Treatment of Partial Growth Arrest of Distal Ulna After Septic Osteomyelitis: A Case Report	Hand(New York),15,722-726,2020, Sep	Case report
150	Maeda E, Koshiba A, Mori T, et al.	産婦人科	Atherosclerosis-related biomarkers in women with endometriosis: The effects of dienogest and oral contraceptive therapy.+H6:J15	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol X. 2020.4 7:100108.	Original Article
151	Umemura S, Oswa Y, Iizumi Y, et al.	産婦人科	Synergistic effect of the inhibitors of RAF/MEK and AXL on KRAS-mutated ovarian cancer cells with high AXL expression.	Cancer Sci 2020.6 111(6): 2052-2061	Original Article
152	Mabuchi A, Waratani Tanaka Y, et al.	産婦人科	Telediafnosis system for congenital heart disease in a Japanese prefecture.	J Med Ultrason 2020.7 47(3): 463-468	Original Article
153	Yoriki K, Kusuki I, Kawamata M, et al.	産婦人科	Successful detection of rectal injury during laparoscopic surgery using a rectal probe in a patient with deep endometriosis	J Obstet Gynaecol Res 2021.1 47(1):425-429	Case report
154	Tarumi Y, Mori T, Okimura H, et al.	産婦人科	Interleukin-9 produced by helper T cells stimulates interleukin-8 expression in endometriosis.	Am J Reprod Immunol 2020.11 19: e13380	Original Article
155	Khan KN, Fujishita A, Koshiba A, et al.	産婦人科	Expression profiles of E/P receptors and fibrosis in GnRHa-treated and -untreated women with different uterine leiomyomas.	PLoS One 2020.11 15(11):e0242246 p1-23.	Original Article
156	Waratani M, Ito F, Tanaka Y, et al.	産婦人科	Prenatal diagnosis of fetal skeletal dysplasia using 3-dimensional computed tomography: a prospective study.	BMC Musculoskelet Disord. 2021.1 21(1):662	Original Article
157	Kubo H, Yagyu S, Nakamura K, et al.	小児科	Development of non-viral, ligand-dependent, EPHB4-specific chimeric antigen receptor T cells for treatment of rhabdomyosarcoma.	Mol Ther Oncolytics. 2021 Mar 5;20:646-658.	Original Article
158	Sakaue S, Hasegawa T, Sakai K, et al.	小児科	Low-grade IVH in preterm infants causes cerebellar damage, motor, and cognitive impairment.	Pediatr Int. 2021 Mar 11. doi:10.1111/ped.14691.	Original Article
159	Miyagaki S, Yamaguchi M, Ota T, et al.	小児科	Alfacalcidol improves the growth velocity in children with vitamin D deficiency/insufficiency: A single center retrospective cohort study.	PLoS One. 2021 Mar 8;16(3):e0247886.	Original Article
160	Tozawa T, Nishimura A, Ueno T, et al.	小児科	Complex hereditary spastic paraplegia associated with episodic visual loss caused by ACO2 variants.	Hum Genome Var. 2021 Jan 26;8(1):4.	Case report
161	Shimakawa U, Shigehara K, Kawabe Y, et al.	小児科	A Case of Salt-Wasting 21-Hydroxylase Deficiency With Resistance to Aldosterone due to Urinary Tract Infection.	Cureus. 2020 Nov 29;12(11):e11763.	Original Article
162	Uesugi M, Mori J, Fukuhara S, et al.	小児科	Short-chain enoyl-CoA hydratase deficiency causes prominent ketoacidosis with normal plasma lactate levels: A case report.	Mol Genet Metab Rep. 2020 Oct 30;25:100672.	Case report
163	Takai A, Chiyonobu T, Ueoka I, et al.	小児科	A novel Drosophila model for neurodevelopmental disorders associated with Shwachman-Diamond syndrome.	Neurosci Lett. 2020 Nov 20;739:135449.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
164	Kawabe Y, Yamaguchi M, Miyagaki S, et al.	小児科	45,X/46,X,psu idic(Y)(q11.2) in a phenotypically normal male with short stature: a case report.	Clin Pediatr Endocrinol. 2020;29(4) Apr :189-193.	Case report
165	Takai A, Yamaguchi M, Yoshida H, et al.	小児科	Investigating Developmental and Epileptic Encephalopathy Using <i>Drosophila melanogaster</i> .	Int J Mol Sci. 2020 Sep 3;21(17):6442.	Review
166	Sugimoto Y, Katsumi Y, Iehara T, et al.	小児科	The Novel Histone Deacetylase Inhibitor, OBP-801, Induces Apoptosis in Rhabdoid Tumors by Releasing the Silencing of NOXA.	Mol Cancer Ther. 2020 Oct;19(10):1992-2000.	Original Article
167	Kanayama T, Imamura T, Mayumi A, et al.	小児科	Functional analysis of a novel fusion protein PAX5-KIDINS220 identified in a pediatric Ph-like ALL patient.	Int J Hematol. 2020 Nov;112(5):714-719.	Original Article
168	Iehara T, Manabe A, Hosoi H.	小児科	Statement on the prevention and treatment of COVID-19 in patients with pediatric cancer in Japan.	Pediatr Blood Cancer. 2020 Sep;67(9):e28440.	Letter
169	Ouchi K, Miyachi M, Yagyu S, et al.	小児科	Oncogenic role of HMGA2 in fusion-negative rhabdomyosarcoma cells.	Cancer Cell Int. 2020 May 24;20:192.	Original Article
170	Mori J, Oudit GY, Lopaschuk GD.	小児科	SARS-CoV-2 perturbs the renin-angiotensin system and energy metabolism.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2020 Jul 1;319(1):E43-E47.	Review
171	Hiramoto R, Miyachi M, Nitta Y, et al.	小児科	Detection of circulating fungal DNA by polymerase chain reaction in a fatal case of <i>Cunninghamella bertholletiae</i> infection.	IDCases. 2020 May 11;20:e00760.	Case report
172	Iehara T, Yoneda A, Kikuta A, et al.	小児科	A phase II JN-I-10 efficacy study of IDRF-based surgical decisions and stepwise treatment intensification for patients with intermediate-risk neuroblastoma: a study protocol.	BMC Pediatr. 2020 May 12;20(1):212.	Others
173	Hashiguchi K, Kuriyama N, Koyama T, et al.	小児科	Validity of stress assessment using heart-rate variability in newborns.	Pediatr Int. 2020 Jun;62(6):694-700.	Original Article
174	Mieno H, Ueta M, Yamada K, et al.	眼科	Expression of prostaglandin E2 receptor 3 in the eyelid epidermis of patients with Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis.	British Journal of Ophthalmology.104(7): 1022-1027, 2020 Jul.	Original Article
175	Aoki T, Kitazawa K, Inatomi T, et al.	眼科	Risk Factors for Corneal Endothelial Cell Loss in Patients With Pseudoexfoliation Syndrome.	Scientific Reports. 10(1): 7260, 2020 Apr.	Original Article
176	Nakayama T, Watanabe A, Rajak S, et al.	眼科	Congenital nasolacrimal duct obstruction continues trend for spontaneous resolution beyond first year of life.	British Journal of Ophthalmology..104(8): 1161-1163, 2020 Aug.	Original Article
177	Itoi M, Ueta M, Ogino K, et al.	眼科	Clinical trial to evaluate the therapeutic benefits of limbal-supported contact lens wear for ocular sequelae due to Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis.	Cont Lens Anterior Eye.43(6): 535-542, 2020 Jun.	Original Article
178	Numa K, Ueno M, Fujita T, et al.	眼科	Mitochondria as a Platform for Dictating the Cell Fate of Cultured Human Corneal Endothelial Cells.	Investigative Ophthalmology & Visual Science. 61(14): 10,2020 Dec.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
179	Arakawa Yukiyasu	皮膚科	Serum thymus and activation -regulated chemokine levels before and after treatment for pruritic scabies.	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology34(12); e817-e818, 2020 Jun	Letter
180	Tamagawa-Mineoka Risa	皮膚科	Atopic Dermatitis: Identification and Management of Complicating Factors.	International Journal of Molecular Sciences21(8); 2671, 2020 Apr	Review
181	Arata Kenta	皮膚科	Nonsteroidal anti-inflammatory drugs are effective against postorgasmic illness syndrome: A case report.	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy 3; 96-97, 2020 Aug	Letter
182	Katoh Norito	皮膚科	Japanese guidelines for atopic dermatitis 2020.	Allergology International69(3); 356-369, 2020 Jul	Review
183	Maruyama Ayano	皮膚科	Perforating folliculitis triggered by bevacizumab administration.	Journal of Dermatology47(8); e298-e299, 2020 Aug	Letter
184	Ushida Manaka	皮膚科	Dupilumab therapy rapidly improved alopecia areata associated with trichotillomania in an atopic dermatitis patient.	Allergology International69(3); 480-482, 2020 Jul	Letter
185	Komori Satoshi	皮膚科	Unusual presentation of extramammary Paget's disease with multiple lymph node metastases showing scant uptake of 18F-fluorodeoxyglucose in positron emission tomography/computed tomography.	Journal of Dermatology47(10); e378-e380, 2020 Oct	Case report
186	Katoh Norito	皮膚科	Efficacy and safety of dupilumab in Japanese adults with moderate-to severe atopic dermatitis: a subanalysis of three trials.	British Journal of Dermatology183(1); 39-51, 2020 Jul	Others
187	Arita Takahiro	皮膚科	Novel ex vivo disease model for extramammary Paget's disease using the cancer tissue-originated spheroid method.	Journal of Dermatological Science99(3); 185-192, 2020 Sep	Original Article
188	Maeno Misato	皮膚科	Metal patch testing in patients with oral symptoms.	Journal of Dermatology48(1); 85-87, 2021 Jan	Others
189	Yasuike Risa	皮膚科	Plasma miR223 is a possible biomarker for diagnosing patients with severe atopic dermatitis.	Allergology International70(1); 153-155, 2021 Jan	Letter
190	Nakanishi Mari	皮膚科	Dupilumab-resistant facial erythema-Dermoscopic, histological and clinical findings of three patients.	Allergology International70(1); 156-158, 2021 Jan	Letter
191	Takashima Ayaka	皮膚科	Subcutaneous nodule showing loss of BAP1 in large plaque-type blue nevus: Melanoma or not?	Journal of Dermatology 47(12); e437-e438, 2020 Dec	Letter
192	Tamagawa-Mineoka Risa	皮膚科	Topical application of toll-like receptor 3 inhibitors ameliorates chronic allergic skin inflammation in mice.	Journal of Dermatological Science 101(2); 141-144, 2021 Feb	Letter
193	Onishi Yuri	皮膚科	Extensive gas gangrene secondary to an infected epidermal cyst on the back.	Australas J Dermatol, 2020 Dec (オンライン)	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
194	Arakawa Yukiyasu	皮膚科	Serum thymus and activation-regulated chemokine levels before and after treatment for pruritic scabies.	Journal of The European Academy of Dermatology Venereology 34(12); e817-818, 2020 Dec	Letter
195	Katoh Norito	皮膚科	Emerging treatments for atopic dermatitis	Journal of Dermatology 48(2); 152-157, 2021 Feb	Review
196	Takumi Shiraishi.	泌尿器科	Usefulness of a novel device to divide core needle biopsy specimen A15s in a spatially matched fashion	Sci Rep Scientific Reports. 2020 Oct 13;10(1):17098	Original Article
197	Masatsugu Miyashita	泌尿器科	Sphere-derived Prostate Cancer Stem Cells Are Resistant to $\gamma \delta$ T Cell Cytotoxicity.	Anticancer research. 2020 Oct;40(10):5481-5487	Original Article
198	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Targeted Focal Cryoablation for Prostate Cancer With Real-time Transrectal Ultrasound-guided Free-hands Technique: A Step-by-step Technique	Urology. 2020 Oct;144:261-262.	Original Article
199	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Prostate squamous cell carcinoma developing 11 years after external radiotherapy for prostate adenocarcinoma	IJU Case Reports. 2020 Apr 20;3(4):121-124.	Original Article
200	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema syndrome in maintenance hemodialysis	IJU Case Reports.2020 Sep 8;3(6):278-281.	Original Article
201	Takumi Shiraishi	泌尿器科	Usefulness of a novel device to divide core needle biopsy specimens in a spatially matched fashion	Scientific Reports. 2020 Oct 13;10(1):17098.	Original Article
202	Tsukasa Narukawa .	泌尿器科	Efficacy of combined treatment of intramuscular testosterone injection and testosterone ointment application for late-onset hypogonadism: an open-labeled, randomized, crossover study	Aging Male. 2020 Dec;23(5):1059-1065.	Original Article
203	Fumiya Hongo	泌尿器科	Usefulness of bicarbonate Ringer's solution as perfusate during transurethral resection of the prostate	Contemporary Clinical Trials Communications. 2021 Feb 10;21:100744.	Original Article
204	Takahiro TsujiKawa, Mitsuda J, Ogi H, et al.	耳鼻咽喉科	Prognostic significance of spatial immune profiles in human solid cancers	Cancer Science 111(10): 3426-3434; 2020 July	Review
205	Mami Kaneko, Sugiyama Y, Hirano S, et al.	耳鼻咽喉科	Effect of voice therapy using semioccluded vocal tract exercises in singers and nonsingers with dysphonia	Journal of Voice. 963.e1-963.e9; 2020 Dec	Original Article
206	Yuzuru Ninoyu, Sakaguchi H, Lin C, et al.	耳鼻咽喉科	The integrity of cochlear hair cells established and maintained through the localization of Dia1 at apical junctional complexes and stereocilia	Cell Death and Diseases. 11(7): 536; 2020 July. (オンライン)	Original Article
207	Makoto Yasuda, Inui TA, Hirano S, et al.	耳鼻咽喉科	Intracellular Cl ⁻ regulation of ciliary beating in ciliated human nasal epithelial cells: frequency and distance of ciliary beating observed by high-speed video microscopy	International Journal of Molecular Sciences. 21(11): 4052; 2020 Jun. (オンライン)	Review
208	Shinya Fuse, Sugiyama Y, Hashimoto K, et al.	耳鼻咽喉科	Laryngeal afferent modulation of swallowing interneurons in the dorsal medulla in perfused rats.	The Laryngoscope. 130(8): 1885-1893; 2020 Aug	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
209	Yoshihiro Matsumoto	精神科・心療内科	Efficacy of Electroconvulsive Therapy for Treatment-Resistant Depression Caused by Hyperparathyroidism: A Case Report.	The Journal of ECT. 2020 Jun;36:e12-e13.	Case report
210	Yoshihiro Matsumoto	精神科・心療内科	Transcatheter aortic valve implantation in a patient with schizophrenia who had contraindications for surgical aortic valve replacement: A case report.	Asian Journal of Psychiatry. 2020 Apr;50:101965.	Case report
211	Yoshihiro Matsumoto	精神科・心療内科	New-onset mania in an elderly patient five months after acoustic neuroma resection.	Bipolar Disorders. 2020 Nov;22:768-770.	Case report
212	Yoshihiro Matsumoto	精神科・心療内科	Duration of untreated illness of patients with obsessive-compulsive disorder in Japan.	Early Intervention in Psychiatry. 2020 Dec 29 (Online ahead of print).	Original Article
213	Teruyuki Matsuoka	精神科・心療内科	Importance of long-term involvement for older people living in severe squalor: A case report.	Asian Journal of Psychiatry. 2020 Aug;52:102146.	Case report
214	Teruyuki Matsuoka	精神科・心療内科	Pineal volume reduction in patients with mild cognitive impairment who converted to Alzheimer's disease.	Psychiatry and Clinical Neurosciences. 2020 Nov;74:587-593.	Original Article
215	Chie Omichi	精神科・心療内科	Association between discontinuation of benzodiazepine receptor agonists and post-operative delirium among inpatients with liaison intervention: A retrospective cohort study.	Comprehensive Psychiatry. 2021 Jan;104:152216.	Original Article
216	Daisuke Ueno	精神科・心療内科	Individual Differences in Interoceptive Accuracy Are Correlated With Salience Network Connectivity in Older Adults.	Frontiers in Aging Neuroscience. 2020 Dec;12:592002.	Original Article
217	Takanobu Yoshii	精神科・心療内科	The Role of the Thalamus in Post-Traumatic Stress Disorder.	International Journal of Molecular Sciences. 2021 Feb;22:1730.	Review
218	Nishimura Motoki, Tamaki N, Matsushima S, et al.	放射線科	Dynamic whole-body ¹⁸ F-FDG PET for differentiating abnormal lesions from physiological uptake	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2020 Sep;47(10):2293-2300	Original Article
219	Ota Yoshiaki, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Single-fraction image-guided high-dose-rate brachytherapy for head and neck cancer: three cases of palliative brachytherapy	J Contemp Brachytherapy. 2020 Jun;12(3):273-278	Original Article
220	Suzuki Gen, Yamazaki H, Aibe N, et al.	放射線科	Comparison of three fractionation schedules in radiotherapy for early glottic squamous cell carcinoma	In Vivo. 2020 Sep-Oct;34(5):2769-2774	Original Article
221	Yamazaki Hideya, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Radiotherapy for elder patients aged ≥80 with clinically localized prostate cancer - Brachytherapy enhanced late GU toxicity especially in elderly	Clin Transl Radiat Oncol. 2020 Oct;25:67-74	Original Article
222	Yamashita Masanori, Miura H, Ohara Y, et al.	放射線科	Evaluation of Temperature Distribution Around the Probe in Cryoablation of Lipiodol-Mixed-Tissue Phantom	Cardiovasc Intervent Radiol. 2021 Mar;44(3):489-495	Original Article
223	Kajikawa Tomohiro, Kadoya N, Tanaka S, et al.	放射線科	Dose distribution correction for the influence of magnetic field using a deep convolutional neural network for online MR-guided adaptive radiotherapy	Physica Medica. 2020 Dec;80:186-192	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
224	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	A surveillance study of patterns of reirradiation practice using external beam radiotherapy in Japan	J Radiat Res. 2021 Mar;62(2):285-293	Original Article
225	Yamazaki Hideya, Masui K, Shimizu D, et al.	放射線科	A national surveillance study of the current status of reirradiation using brachytherapy in Japan	Brachytherapy. 2021 Jan-Feb;20(1):226-231	Original Article
226	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Takenaka T, et al.	放射線科	Objective and quantitative assessment in acute radiation-induced skin toxicity: Way to overcome the barriers?	Radiother Oncol. 2020 Oct;151:304-305	Original Article
227	Yamazaki Hideya, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Potential Risk of Other-Cause Mortality Due to Long-Term Androgen Deprivation Therapy in Elderly Patients with Clinically Localized Prostate Cancer Treated with Radiotherapy-A Confirmation Study	J Clin Med. 2020 July;9(7):2296	Original Article
228	Ota Yoshiaki, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Single-fraction image-guided high-dose-rate brachytherapy for head and neck cancer: three cases of palliative brachytherapy	J Contemp Brachytherapy. 2020 Jun;12(3):273-278	Original Article
229	Yamazaki Hideya, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Unexpected lower biochemical control of high-dose-rate brachytherapy boost than low-dose-rate brachytherapy boost for clinically localized prostate cancer	Clin Transl Radiat Oncol. 2020 Jun;24:10	Original Article
230	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Takenaka T, et al.	放射線科	Is there clinical meaningful threshold in dose volume analysis between grade 0-2 and 3-4 radiation dermatitis? Head Neck	Head Neck. 2020 Aug;42(8):2217-2218	Original Article
231	Horii Yasuhiko	麻酔科	Spinal and Peripheral Mechanisms Individually Lead to the Development of Remifentanyl-induced Hyperalgesia	Neuroscience.2020 October.446(2020)28-42	Original Article
232	Kazuma Hayase, Atsushi Kainuma, Koich Akiyama, et al.	疼痛・緩和ケア科	Poincaré Plot Area of Gamma-Band EEG as a Measure of Emergence From Inhalational General Anesthesia.	Frontiers in Physiology・2021年2月9日(オンライン)	Original Article
233	Yasuhiko Horii, Megumi Matsuda, Hitomi Takemura, et al.	疼痛・緩和ケア科	Spinal and Peripheral Mechanisms Individually Lead to the Development of Remifentanyl-induced Hyperalgesia.	Neuroscience・2020年10月15日	Original Article
234	Fumimasa Amaya.	疼痛・緩和ケア科	Immunotherapy for the management of cancer pain.	Annals of Palliative Medicine・2020年7月	Review
235	Tasuku Matsuyama	救急医療科	Epinephrine administration for adult out-of-hospital cardiac arrest patients with refractory shockable rhythm: time-dependent propensity score-sequential matching analysis from a nationwide population-based registry	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother . 2021 Feb 18;pva013.	Original Article
236	Tasuku Matsuyama	救急医療科	Willingness to perform bystander cardiopulmonary resuscitation: A scoping review	Resusc Plus . 2020 Nov 25;4:100043.	Review
237	Takeda-Miyata Naoko	病理診断科	Prognostic significance of spread through air spaces in pulmonary metastases from colorectal cancer	Lung Cancer. 149 61-67, 2020 Nov.	Original Article
238	Kanai Risa	病理診断科	Mantle cell lymphoma with EBV-positive Hodgkin and Reed-Sternberg-like cells in a patient after autologous PBST:Phenotypically distinct but genetically related tumors	Pathology International. 71 (1) 96-101, 2021 Jan.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
239	Tohru Inaba	臨床検査部	Auer-rods in cellular component other than typical myeloblasts.	Int J Hematol 112, 605-606, 2020 Nov.	Others
240	Tetsuya Adachi	歯科	In vivo regeneration of large bone defect by cross-linked porous hydrogel: a combined study by micro-tomography, histological analyses, Raman spectroscopy and synchrotron infrared imaging.	Materials (Basel). 2020 Oct; 13: 4275.	Original Article
241	Koya Nakamura	歯科	Effects of mechanical stress on human oral mucosa-derived cells.	Oral Disease. 2020 Sep; 27: 1184-92.	Original Article
242	Nao Miyamoto	歯科	Molecular fingerprint imaging to identify dental caries using raman spectroscopy.	Materials (Basel). 2020 Nov; 13: 4900.	Original Article
243	Maki Nakagawa	歯科	Long-term exposure to butyric acid induces excessive production of matrix metalloproteases in human gingival fibroblasts.	Archives of Oral Biology. 2021 Mar; 123: 105035.	Original Article

小計 5

計 243

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとす。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Masaki Ishida	呼吸器内科	A case of minimal change nephrotic syndrome after nivolumab treatment for malignant pleural mesothelioma	日呼吸誌 10(2), 2021 Mar.	Case report
2	Ushigome E, Kitagawa N, Kitagawa N et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Predictive power of home blood pressure measurement for cardiovascular outcomes in patients with type 2 diabetes: KAMOGAWA-HBP study.	Hypertens Res. 2021 Mar;44(3):348-354.	Original Article
3	Toshiro Yamamoto	歯科	Clinical study of anti-resorptive agents-related osteonecrosis of the jaw in prostate cancer patients using the bone-modifying agents injection in our hospital.	Journal of Japanese Society of Dentistry for Medically Compromised Patient. 2020 Dec; 29: 298-304.	Original Article

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

計 3

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 学長の業務、研究者等の責務等、研究責任者の業務、他機関への既存資料・情報等の提供、審査委員会の事務・審査記録の保存、講習の受講、データベースの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 10 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定 「京都府立医科大学臨床研究に係る利益相反の管理に関する取扱規程」…臨床研究における利益相反の管理について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 11 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 9 回
・ 研修の主な内容 「臨床研究に必要な臨床研究法・ヒト指針の基礎知識」 「臨床研究における①データマネジメントとは②モニタリングの基本的考え方と流れ」 「臨床研究の公正を事例から考える」 「再生医療をめぐる倫理・法・社会」 「臨床試験実施計画書の統計学的考察」	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 253人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山口 寛二	消化器内科	講師	24年	
中村 猛	循環器内科	准教授	26年	
太田 矩義	腎臓内科	助教	14年	
徳田 深作	呼吸器内科	助教	17年	
山崎 真裕	内分泌・糖尿病・代謝内科	講師	25年	
古林 勉	血液内科	講師	19年	
和田 誠	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	23年	
田中 瑛次郎	脳神経内科	助教	15年	
塩崎 敦	消化器外科	助教(学内講師)	24年	
沼田 智	心臓血管外科	講師	26年	
前田 吉宣	小児心臓血管外科	助教	21年	
下村 雅律	呼吸器外科	講師	19年	
阪口 晃一	内分泌・乳腺外科	講師	26年	
昇 修治	移植・一般外科	講師	23年	
古川 泰三	小児外科	准教授	26年	
素輪 善弘	形成外科	講師	18年	
丸山 大輔	脳神経外科	助教	19年	
白井 寿治	整形外科	准教授	25年	
森 泰輔	産婦人科	准教授	20年	
森 潤	小児科	助教(学内講師)	13年	
鎌田 さや花	眼科	助教	16年	
浅井 純	皮膚科	講師	20年	
山田 剛司	泌尿器科	助教(学内講師)	15年	
新井 啓仁	耳鼻咽喉科	助教(学内講師)	18年	
阿部 能成	精神科・心療内科	助教	11年	
高畑 暁子	放射線科	助教	20年	
石井 祥代	麻酔科	講師	17年	
小川 寛	疼痛・緩和ケア科	講師	15年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	准教授	18年	
山本 俊郎	歯科	講師	25年	
森永 友紀子	病理診断科	助教	14年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)

- ・ R2. 4. 8 D7病棟人工呼吸器VELA取扱研修会 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 6. 15 PICU人工呼吸器研修1回目9名 9名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 6. 23 ICU人工呼吸器研修 11名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 7. 3 PICU血液浄化研修 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 7. 13 PICU人工呼吸器研修12回目 4名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 7. 27 C7酸素療法デバイス研修 26名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 7. 29 ER人工呼吸器研修 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 8. 12 A8病棟人工呼吸器VELA取扱研修会 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 9. 5 臨床工学技術課 SP-200 ECMO勉強会 19名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 9. 8 集中治療部医師 SP-200 ECMO勉強会 7名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 9. 17 ICU SP-200 ECMO勉強会 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 10. 1 PICU SP-200 ECMO勉強会 23名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 10. 8-14 ICU TR-2020勉強会 24名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 10. 27 ICUペースメーカー勉強会 6名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 11. 17 臨床工学技術課PB980勉強会 19名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 11. 18 臨床工学技術課輸液ポンプ勉強会 19名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 11. 18 放射線治療機器安全使用に関する研修 15名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 11. 27 C2 TR-2020勉強 13名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 12. 2 ICU医師PB980勉強会 9名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 12. 2 ICU看護師PB980勉強会 22名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 12. 7 C6人工呼吸器研修1回目 6名 (臨床工学技術課)
- ・ R2. 12. 8 C6人工呼吸器研修2回目 6名 (臨床工学技術課)

- ・ R2. 12. 10 C6人工呼吸器研修3回目 8名（臨床工学技術課）
- ・ R2. 12. 15 院内看護師輸液ポンプ勉強会 240名（臨床工学技術課）
- ・ R2. 12. 17 保育器勉強会 19名（臨床工学技術課）
- ・ R2. 7. 9 臨床栄養スキルアップのための研修「腸内細菌について」15名（栄養課）
- ・ R2. 8. 13 臨床栄養スキルアップのための研修「野菜ジュース、人工甘味料について」
15名（栄養課）
- ・ R2. 10. 8 臨床栄養スキルアップのための研修「脂肪酸について」15名（栄養課）
- ・ R2. 11. 26 糖尿病学会参加報告（最新情報などの共有）11名（栄養課）
- ・ R2. 12. 10 腎臓病学会報告・腎性貧血の新治療薬について 15名（栄養課）
- ・ R3. 1. 14 臨床栄養スキルアップのための研修「糖尿透析予防について」15名（栄養課）
- ・ R3. 2. 18 臨床栄養スキルアップのための研修「LDLコレステロールについて」15名（栄養課）
- ・ 接遇研修（WEB）80名（臨床検査部）
- ・ リスク管理（災害時）及び医療安全研修会（WEB）69名（臨床検査部）
- ・ 個人情報保護についての研修会（WEB）80名（臨床検査部）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・ レビュースタッフ研修会（WEB）33名（臨床検査部）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・ 研修の主な内容
- ・ 研修の期間・実施回数
- ・ 研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 夜久 均
管理担当者氏名	事務部長 四辻 直樹

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	診療情報管理室 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管。平成20年1月から電子カルテシステムを導入しており、それ以前の紙カルテ(手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等)は、診療情報管理室に保管。 ・処方箋は調剤室に、エックス線フィルムはフィルム庫保管。 ※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。	
		各科診療日誌			
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書					
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。	
		高度の医療の提供の実績	経理課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課		
		高度の医療の研修の実績	病院管理課		
		閲覧実績	病院管理課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	経理課		
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経理課	
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部				

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部	<ul style="list-style-type: none"> •電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全推進部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		監査委員会の設置状況	医療安全推進部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務室
		職員研修の実施状況	医療安全推進部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進部
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部総務室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務室		

・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。
 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院管理課長 池邊 俊之		
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 片山 和彦		
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整係		
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故を防止し、安全かつ適切な医療を提供する体制 ・ 安全管理のための基本的な考え方 ・ 安全管理のための組織 ・ 医療事故発生時の対応 ・ 医療事故及びインシデント報告制度 ・ 職員の教育・研修及び啓発 ・ 患者相談窓口 ・ 患者本位の医療の提供 ・ 診療行為に内在する危険防止のために必要な情報を患者に提供 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための指針の策定及び変更 ・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の安全管理に関する最近の話題 (オンライン) ・ コードブルー対応が変更されました この機会に救急蘇生法を復習しよう (オンライン) ・ 苦情、クレーム対応研修会 (DVD貸し出し) ・ 特定機能病院に求められる医療安全体制について (DVD貸し出し) ・ 医療事故調査制度について (オンライン) ・ せん妄を知ろう (オンライン) ・ 診療記録記載指針の研修会 (オンライン) ・ 近年の医療過誤訴訟の事例と医事法教育 (オンライン) 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ オカレンス報告の実施 ・ 職員間での情報共有と注意喚起のためのインシデント事例等を掲載した「医療安全推進部ファイル」の作成 供覧 ・ 医療安全レターによる情報提供と注意喚起 ・ 急変対応ワーキングチームによるシステムの見直し、院内蘇生講習 ・ 医療安全のための院内ラウンドの実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策に関する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者への情報提供と説明に関する基本方針 ・ 病院における院内感染対策の推進における基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症発生状況（対応状況も含む） ・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・ 抗MRSA薬、抗緑膿菌活性を有する抗菌薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・ 擦式手指消毒用アルコール製剤の使用状況報告 ・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内での対応の報告（対応状況も含む） ・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対応：PPE着脱オンライン講習（視聴覚研修・DVD貸出） ・ 薬剤耐性菌と抗菌薬適正使用「かぜ」と「腸炎」を考える（視聴覚研修・DVD貸出） ・ 抗MRSA薬の適正使用と感染対策（視聴覚研修・DVD貸出） ・ COVID-19についてわかってきたこと（視聴覚研修・DVD貸出） ・ 小児医療センター感染対策&抗菌薬適正使用研修会（小グループに分かれ実施） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	有・無
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各所属に「感染対策推進員」を配置し、院内感染対策の推進や院内感染事例が疑われた際、感染対策部との連携を図り迅速な初動につなげている。 ➤ 看護部門には推進員とは別に「リンクナース」を配置し、2か月～3か月に1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。 ➤ 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。 ➤ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内対応に関する検討、そして対策として立案された内容を周知するために週に2回程朝に関連部署代表らによる検討の場を設けている。また、その内容を院内へ周知するために週に1回、web会議として院内所属長に向けた連絡会を実施している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p><全職員対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○医薬品安全管理セミナー「最近の医薬品安全対策」 講演：2020/6/1～30：640名、DVD：1,017名 計1,657名 ○新規採用者向け研修 講演：2020/4/1：114名、UB point：54名、計168名 ○抗菌薬適正使用推進研修会「抗MRSA薬の適正使用と感染対策」 DVD：1,792名 <p><医師対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修医対象「医薬品の取扱い」 開催日：2020/4/2：83名 <p><看護師対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新人看護職員対象「医薬品の取扱い」 開催日：2020/4/6・7：70名 <p><薬剤師対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新人薬剤師対象「医薬品の適正使用と適正管理」 開催日：2020/4/3：4名 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟薬剤師による各病棟での学習会等（8回、計92名） ・担当薬剤師による手術室新規配属医師への麻薬・筋弛緩薬の取扱い（9回、計32名） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・係長以上で年2回、業務手順書の再点検をし、医療に関する安全管理対策会議に諮った上で手順書を改定 2) 医薬品安全管理に関する院内ラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・係長以上で年1回、全部署を訪問。手順書に基づく業務の遂行、特に医薬品や鍵、注射シリンジ等の管理状況、救急カート薬や備品の安全な使用、口頭指示の適切な運用、薬剤部から発信している情報の共有状況、輸液ソフトバックを取り扱う際のピンホールの有無のチェック、PTPシートの誤飲対策等を確認 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p>	

・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：

ハブリックス（A型肝炎ワクチン）、タイフィム（腸チフスワクチン）、
ベロラボ（狂犬病ワクチン）、プリオリックス（麻疹・風疹・ムンプスワクチン）
ブーストリックス（破傷風・百日咳・ジフテリアワクチン）を渡航ワクチン外来で使用

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1) 未承認薬、適応外処方等の情報収集等

- ①医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会でのかかわり
 - ・未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入
- ②薬剤部内・病棟内でのかかわり
 - ・未承認薬の持込 → 入退院センター業務、病棟薬剤業務、DI業務の中で把握
 - ・病棟での適応外使用 → 病棟薬剤業務の中で把握

2) 院内での医薬関連事故等の把握と対策

- ①医療に関する安全管理対策委員会、医療安全サポート会議での検討（各月1回）
- ②医薬品安全管理委員会での検討（月2回）
 - ・アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有と対策の立案
 - ・未承認薬の処方状況の把握と共有

3) 薬剤部での通常の実行（主なもの）

- ①DIニュースの発行（月1回）
- ②緊急安全性情報・安全性速報、厚労省医薬品・医療機器等安全性情報の他、重要な通知に関する電子カルテへの掲示、院内配布
- ③重要な情報は患者を特定し処方医に文書で通知し、確認印の押されたものを薬剤部で回収
- ④粉碎・一包化の可否情報、麻薬Q&A等薬剤部で加工した文書の電子カルテへの掲示
- ⑤向精神薬の重複処方・過剰処方のモニタリングと注意喚起
- ⑥注射薬ラベルへのルート・フィルター選択上の注意記載
- ⑦トレーシングレポートシステム、フォローアップシートの推進

4) 薬剤部での新たな取組

- ①医療安全WGの設置
- ②内服処方箋レイアウト変更
- ③向精神薬・毒薬管理簿院内共通フォーマット運用開始
- ④Safety News発行開始
- ⑤ロードーズ・リマインダーシール運用開始
- ⑥グリセリン浣腸液処方時の注意喚起（直腸穿孔回避）

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 21 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器の取り扱い、人工呼吸管理、補助循環、ペースメーカー、新規導入機器、血液浄化、汎用型医療機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸引器)、放射線機器、他</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>MEセンターによる年2回の定期点検(約4800台)、特定保守管理機器(人工臓器関連)のメーカー点検実施済</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内での医療機器に関する医療事故関連情報の把握：医療安全サポート会議(1回/月) ・ 消化器内視鏡室での内視鏡関連機器の運用状況把握 ・ 医療に関する安全管理対策委員会への参加(1回/月) ・ 医療機器管理部からの医療機器関連安全並びに取扱い方法に関する情報の発信：MEセンター通信の発行(4回/年) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長、医療に関する安全管理対策委員会の委員長として病院全体の安全に関わる事柄を統括し指示・指導を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月1回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。</p> <p>緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実に速やかに提供している。</p> <p>特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に閲覧印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>申請書、同意書の確認。 使用の妥当性に関する情報収集と事前審査。 使用後のモニタリング。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有) 無</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ((有)・無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：毎月3診療科について診療録を確認し、定められた事項の遵守状況の点検を行い、必要時、指導を行っている。 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。 また、「診療記録記載指針」を策定し、記載すべき項目や留意点を示して職員研修を実施するとともに、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の点検及び意見交換を行い、その結果を各所属にフィードバックすることで、診療記録の質的向上にも取り組んでいる。 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従（5）名、専任（1）名、兼任（7）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（2）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故、インシデント、オカレンスに係る報告のとりまとめ ・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・ 安全管理のための教育、研修の実施 ・ 安全対策の推進 ・ 院内死亡事例の確認と病院長への報告 ・ インフォームド・コンセント実施要綱に従った説明同意書の作成推進と要綱の遵守状況の点検 ・ 集中治療部門、手術部門、内視鏡部門、放射線部門で一定の基準以上の事象が発生した事例の把握（オカレンス報告）、入院患者の転倒・転落発生率・心肺蘇生実施の把握などのモニタリングの実施 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：

高難度新規医療技術による医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

高難度新規医療技術導入審査委員会 4回開催
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（17件）、及び許可件数（17件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：

未承認薬等を使用する医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

臨床倫理承認委員会 13回開催
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 183 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：アクシデント報告 年 53 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名： 大阪大学医学部附属病院 ）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名： 滋賀医科大学附属病院 ）・無）
- ・技術的助言の実施状況
書面による実施のため、助言は特になし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

「患者相談等に関する要綱」に基づき、平成15年4月1日から「患者相談窓口」（医療サービス課所管）を設置し、事務職員、PSW・MSWが、平日の8時45分から17時まで対応している。
その際に、患者、家族等からの相談、要望、意見等を専門の相談員又は安全管理推進者がお聞きして支援することとしている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象とした医療安全研修会として、医療事故調査制度やインシデント・アクシデントの具体的事例の改善策、安全な医療を行うために必要な知識、医療と法律に関する内容について研修を実施した。また、新採用者、研修医に対しては、インシデント・アクシデント報告の流れ、具体的事例の改善策についての研修を実施した。

研修内容

- ・新人看護職員対象「医療安全の基本について」 70名
- ・研修医、新採用医師、新採用医療技術職対象「医療安全対策について」251名
- ・全職員対象「医薬品の安全対策に関する最近の話題」受講者数（DVD）1017名
「医薬品の安全対策」受講者数（オンライン）640名
「コードブルー対応が変更されました!この機会に救急蘇生法を復習しよう」（オンライン）1013名
「特定機能病院に求められる医療安全体制」受講者数（DVD）755名
「苦情・クレーム対応研修」受講者数（DVD）803名
「医療事故調査制度について」受講者数（オンライン）426名
「せん妄を知ろう～ABC Delirium～」受講者数（オンライン、DVD）623名
「診療記録記載指針の研修会」受講者数（オンライン、DVD）313名
「近年の医療過誤訴訟の事例検討と医事法教育」受講者数（オンライン）234名

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2020年度特定機能病院管理者研修受講（2020/10/15）

管理者：

日本医療機能評価機構 2020年度特定機能病院管理者研修受講（2020/11/11）

医療機器安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2020年度特定機能病院管理者研修受講（2020/12/10）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

（公財）日本医療機能評価機構実施の病院機能評価を受審（受審区分：一般病院2）

※受審年月：平成28年2月、認定期間：平成28年3月20日～令和3年3月19日

※次回受審：令和4年8月 受審予定区分：一般病院3

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う審査特例措置により、受審予定月を令和4年2年を令和4年8月に延期

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

評価の結果（認定等）については、病院のHP及び院内に掲示で公表している。

※「一般病院3」：令和4年8月受審後に改善点が発生した場合はHPに掲載予定

・評価を踏まえ講じた措置

前回評価後、職員の安全衛生管理について指摘を受けた項目については、専門コンサルへの改善依頼、施設設備を新設する等の対応を講じており、引き続き改善活動を実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学内外を問わず、日本国の医師免許を有する者 (2) 附属病院の理念及び基本方針に基づいた病院運営を行う能力を有する者 (3) 医療安全管理業務の経験、患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 (4) 病院での組織管理経験及び高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 法人のホームページで公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 法人のホームページで公表 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
藤井 和男	公立大学法人本部	今年度 開催の 委員会 で選任 予定	選考等に関する規程第2条第3項第1号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
竹中 洋	京都府立医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第2号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
橋本 直哉	同 脳神経外科学		選考等に関する規程第2条第3項第3号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
夜久 均	同 附属病院		選考等に関する規程第2条第3項第4号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
佐和 貞治	同 附属病院 医療安全推進部		選考等に関する規程第2条第3項第5号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
藤本 早和子	同 附属病院看護部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
四辻 直樹	同 附属病院事務部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
岡村 吉隆	誠佑記念病院		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
松田 晋哉	産業医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 京都府立医科大学附属病院の運営方針に関すること。 (2) 附属病院の中期計画・年度計画に関すること。 (3) 附属病院の予算・決算に関すること。 (4) その他附属病院の運営に関する重要な事項に関すること。</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議での審議の概要については、臨床部長会等で周知を行う。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有 (有)・無)</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ((有)・無)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
夜久 均	○	医師	病院長
井上 匡美		医師	副病院長
的場 聖明		医師	副病院長
福井 道明		医師	副病院長
藤本 早和子		看護師	副病院長、看護部長
四方 敬介		薬剤師	薬剤部長
轟 英彦		放射線技師	医療技術部長
四辻 直樹		事務	事務局副局長(事務部長)
池邊 俊之		事務	病院管理課長
山口 正樹		事務	医療サービス課長
田川 裕隆		事務	総務課長
木森 優		事務	経理課参事

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ **管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無** (有 ・ 無)

- ・ **公表の方法**

学内HPに掲載 (他の大学規程と同様の取扱い)

- ・ **規程の主な内容**

- ・ 京都府立医科大学附属病院規程

第5条第3項 病院長は、本院の管理運営を統括するとともに次の事項を専行するものとする。 (以下略)

- ・ 京都府立医科大学附属病院規程

第6条第3項 教授の職にある副病院長は、病院長又は病院長予定者が診療部長の職にある者の中から指名するものとする。

※京都府立医科大学附属病院規程において、病院内の各役職ごとに、病院長が指名する旨を同様に規定

- ・ 京都府立医科大学附属病院管理運営会議規程

第2条 (所掌事項) 第3号 附属病院の予算・決算に関すること。

第4条 (会議) 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

- ・ **管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割**

管理者をサポートする体制として、以下の会議を規程により設置

- ・ 病院管理運営会議 (病院の運営方針等を決定する合議体。病院長、副病院長等で構成)

- ・ 病院経営改善推進会議

(病院の経営改善の方針、運営を審議。学長、副学長、病院長、副病院長等で構成)

- ・ 病院経営改善企画会議

(病院の運営方針の企画、管理運営を審議。病院長、副病院長等で構成)

- ・ 臨床部長会 (病院の運営、診療を審議。診療部長等で構成)

他に、個別の課題に対応するため、医療材料検討委員会や病床運用検討委員会など、病院長、担当副病院長が出席する委員会を設置している。

- ・ **病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況**

- ・ 病院長の指名により副病院長、薬剤部長、医療技術部長等の管理職員を配置している。また、中央部門の長等及び各種委員会の委員についても病院長が指名している。

- ・ 病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者について、日本医療機能評価機構による「特定機能病院管理者研修」を受講

- ・ 外部講師による「病院経営改善セミナー」に病院長及び管理職員が参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の医療安全管理部、医療に関する安全対策委員会、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者等の業務の状況について、病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を行う。 ・ 必要に応じ、医療に係る安全管理について是正措置を講ずるよう意見を表明する。 ・ 監査の結果について速やかに公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法：京都府公立大学法人のホームページに掲載 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	有・無	1
平野 哲郎	立命館大学法科大学院 法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	有・無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部		医療安全管理に関する専門的知識を有している。	有・無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医療を受ける者の代表	有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

京都府公立大学法人コンプライアンス推進規程

京都府公立大学法人コンプライアンス委員会設置要綱

公立大学法人総務・経営担当理事を委員長とし、法人所管の2大学の学長、法人の教職員の身分を有していない理事のほか、コンプライアンスに関する有識者で構成するコンプライアンス委員会において、コンプライアンスの推進に係る制度の実施状況の把握、点検、評価等を行うとともに、通報事案の解決策の明示、再発防止策の策定を行う。

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

コンプライアンス推進規程及び内部通報制度に関する要綱を京都府公立大学法人のホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 京都府公立大学法人理事会 病院長は理事として出席 規程に理事会の所掌として明記の上、病院の業務実績等について定期的に報告する等病院業務の監督を実施 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ） ・ 公表の方法 京都府公立大学法人のホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 京都府公立大学法人及び京都府立医科大学附属病院ホームページに掲載 京都府立医科大学コンプライアンス指針に掲載 (教職員研修等で周知)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページに本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。</p> <p>また、患者向け広報誌を発行 (年 3 回) し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど 7 つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。</p>	